



徳島県美術家協会

# 美術年報

2012

# 目次

はじめに	徳島県美術家協会長 河崎 良行	1	
徳島県美術家協会規約		4	
平成 22 年度事業報告		5	
平成 23 年度役員名簿		8	
平成 23 年度各部役員名簿		9	
徳島県美術展開催運営要項		14	
第 66 回徳島県美術展記録		18	
第 66 回徳島県美術展出品・入選等状況		27	
徳島県美術展審査員一覧		28	
第 19 回放美展記録		32	
第 19 回放美展出品・入選等状況		38	
平成 23 年度各部記録			
・日本画部	部会長 西野 和男	40	
・洋画部	部会長 榊田 務	43	
・写真部	部会長 上野 照文	51	
・彫刻部	部会長 松永 勉	56	
・美術工芸部	部会長 七條猪三郎	60	
・書道部	部会長 荒井 彭仙	64	
・デザイン部	部会長 田中 一郎	70	
会員名簿			
・日本画部	76	・美術工芸部	84
・洋画部	77	・書道部	86
・写真部	80	・デザイン部	96
・彫刻部	84		
第 66 回徳島県美術展公募規定		97	
第 19 回放美展公募規定		98	

あとがき

## はじめに

昨年は、東日本大震災、原発事故などによる自粛ムードの中、海外との文化交流事業や展覧会は縮小され、その上経済不況が重なり、国内の美術展においても応募者の減少傾向がみられ、今後の展開に不安が伴う状況でした。

しかし、10月開催の第66回県展には、1,298人による応募があり昨年を上回る盛況ぶりに、その不安は一掃されました。

停滞した空気が国中に漂っている中で入選率が厳しい県展にチャレンジしようとする多くの出品者に敬意を表したいと思います。それは、戦後の荒廃の中で芸術文化の再建に向けて県展を立ち上げた理念や、その創立期の先人たちの精神が現在に受け継がれたものか、ともかく根強い県展に対する思い入れに感銘を受けました。

審査員の批評も、おおむね好評であり、徳島新聞に掲載された作品評では「感覚、センスの良さ」や「レベルの高さ」といった言葉が各分野で多く用いられています。とくに入賞作品については全国に通じるものと高く評価されていました。今後は更に広い世界に出て活躍してもらいたいと期待しているところです。

第19回放美展は5月に、あわぎんホールで開催され、出品者770人で1,172点の応募があり、今回も盛況のうちに終わることができました。

この放美展は、春の県展といわれていますが、広く県内外から美術愛好者や新人の発掘に努めることを意図したものであり、春季の総合美術展として広く県民に親しまれてきました。作品の審査は、地域の特色をよく理解されている県内在住の作家に依頼しています。土地の状況や記憶を後世に伝えるとともに、地域それぞれの生活のメカニズムも重要であります。今後は更に若い人にも積極的に声をかけて、文化や芸術が生活に欠かせないことの認識を深めてもらう機会を拡げていきたいと考えています。

第7回徳島県こども県展（こども県展）は、10月に開催されました。募集内容は、絵画（版画・デザインを含む）、書写（毛筆）で、県内の小・中学生が対象です。

応募作品は10,645点あり、昨年より1,399点も多く、家族連れの来観者が多く賑やかな展覧会となりました。子どもの表現活動が人間の知性や感性の発育にいかにより必要であるかを、親子ともども体感してもらうよい好機になったと思っています。

美術家協会会員の制作活動は、県内外の個展、グループ展、公募展などでの受賞など、年々すばらしい成果を上げていますが、本誌の各部会欄において紹介されるので重複を避けることにしました。

悲しいお知らせになりますが、当協会理事で写真部会

長を務めていた荒井賢治氏が、11月22日63歳で逝去されました。

新井氏は二科会写真部会員としても全国的に活躍されていた写真家です。12月には「限界集落ふるりに抱かれて」が徳島新聞社より刊行され、大きな反響を呼んでいます。われわれに強烈なメッセージを残しての早すぎる旅立ちとなりました。

また、書家で当協会の理事を務めていた勝瀬景流氏が、12月5日70歳で逝去されました。勝瀬氏は日展の審査員をはじめ、日本書芸院常任理事など書道界の重鎮として活躍されていましたが突然の悲報でした。お二人のご功績を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

最後になりましたが、徳島県、徳島新聞社、四国放送並びに当協会関係者の御尽力に、感謝を申し上げます。

平成24年3月

徳島県美術家協会会長

河崎良行

# 徳島県美術家協会規約

昭和23.	9.	12	規約制定
	32.	7.	14 新規約制定
	33.	4.	29 規約一部改正
	42.	4.	23 "
	46.	4.	29 "
	47.	5.	29 "
	49.	8.	22 "
	52.	7.	23 "
	56.	5.	5 "
	58.	6.	5 "
	61.	6.	21 "
平成4.	6.	27	"
	6.	25	"
	10.	6.	27 "

## 第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称し、事務所を徳島市内におく。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻  
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

- (イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会  
(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

## 第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

- 会 長 副会長(2名)  
理 事(若干名) 監 事(2名)

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員の内任期は2年として留任をさまたげない。

第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補助し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員を選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあつては3名、

31名以上の部にあつては、さらに10名毎に1名選出できる。

第9条 理事会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。

## 第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

- 部会長・委員(部会員数の3割以内)  
部監事(2名)

役員は部総会で選出する。役員の内任期は2年とし留任をさまたげない。

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員を選出その他重要事項の審議を行う。

ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。

第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

## 第4章 経 費

第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

## (参 考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館(徳島公園内の県立図書館)内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会パッチを選定(図案は鬼塚副会長)

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事(3名~5名)によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部(日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道)のうゑに商業美術(58年度からデザインに改称)が加わり7部組織となる。

# 平成 22 年度事業報告

- (1) 総 会
- ◇平成 22 年 6 月 5 日 (土)
  - ◇あわぎんホール 5F 第 6 会議室
  - ◇平成 21 年度事業報告及び決算報告
  - ◇監査報告・承認
  - ◇平成 22 年度事業計画及び予算審議
  - ◇その他
- (2) 第 18 回放美展
- ◇平成 22 年 5 月 2 日 (日)～5 月 6 日 (木)
  - ◇あわぎんホール 3F 全展示室及び 4F 会議室 (会議室 2～4)
  - 日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザインの 614 点展示
  - ◇受賞者表彰式 平成 22 年 5 月 5 日 (水・祝) あわぎんホール
- (3) 第 65 回県美術展
- ◇第 1 期 平成 22 年 10 月 9 日 (土)～17 日 (日)
  - あわぎんホール 3F 全展示室及び 4F 会議室 (会議室 2～4)
  - 日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザインの 554 点展示
  - ◇第 2 期 平成 22 年 10 月 19 日 (火)～27 日 (水)
  - あわぎんホール 3F 全展示室
  - 書道の 399 点展示
  - ◇第 65 回県展表彰式
  - 平成 22 年 10 月 17 日 (日) 徳島新聞社 7F 会議室
- (4) 第 6 回徳島県子ども美術展
- ◇平成 22 年 10 月 15 日 (金)～19 日 (火)
  - ◇あわぎんホール
  - 徳島県内の小中学生の絵画 (版画・デザインなども含む)、書写 (毛筆)
  - 2,134 点展示
  - ◇受賞者表彰式 平成 22 年 10 月 17 日 (日) あわぎんホール
- (5) 県展・放美展会議
- ◇第 65 回県展運営委員会・県展事務局員会議 (22.8.18)
  - ◇第 66 回県展運営委員会・県展事務局員会議 (23.2.23)
  - ◇第 18 回放美展運営委員会 (22.4.22)
  - ◇第 19 回放美展運営委員会 (22.12.8)
- (6) 各部会行事
- ◇洋画部 第 24 回洋画部会員展 (22.6.17～20) あわぎんホール
  - ◇写真部「大阪海遊館とその周辺」撮影会 (22.6.27)

(7) 各種後援

- ◎第 11 回大貝久義個展 (22.4.12 ~ 30)
- ◎第 18 回三美書研展 (22.4.16 ~ 18)
- ◎第 2 回尚石会書展 (22.4.16 ~ 18)
- ◎第 11 回ニコールクラブ徳島支部写真展 (22.4.23 ~ 25)
- ◎第 13 回朱泥会展 (22. 5. 8 ~ 10)
- ◎第 55 回成蹊書道会展 (22. 5.14 ~ 16)
- ◎第 17 回大耿会書作展 (22. 5.21 ~ 23)
- ◎第 21 回燎 4 人展 (22. 5.27 ~ 31)
- ◎徳島アート 21 第 8 回展 (22. 6. 2 ~ 6)
- ◎第 28 回徳島平和美術展 (22. 6. 3 ~ 6)
- ◎第 33 回写真同人「炎」作品展 (22. 6. 4 ~ 6)
- ◎第 33 回八紅展 (22. 6.17 ~ 20)
- ◎第 37 回双暢会書展 (22. 6.18 ~ 20)
- ◎米寿記念 新居藍州書作展 (22. 6.23 ~ 27)
- ◎書道特別展「奇石の気概一脱俗・心画の書」 (22. 7. 3 ~ 8.15)
- ◎大西利津子作品展 (22. 7. 1 ~ 5)
- ◎第 6 回二科会写真部徳島支部展 (22. 7. 7 ~ 12)
- ◎第 69 回世代美術展 (22. 7.15 ~ 18)
- ◎中央公民館成人大学洋画講座渭北油絵教室作品展 (22. 7.15 ~ 19)
- ◎第 9 回合同絵画展 (22. 7.16 ~ 18)
- ◎吉野川市文化協会 第 6 回総合美術展 (22. 7.17 ~ 19)
- ◎第 23 回長玄書道会展 (22. 7.23 ~ 25)
- ◎第 31 回東光会徳島支部展 (22. 7.23 ~ 25)
- ◎四国大学書道文化学科第 24 回教員展 (22. 7.24 ~ 30)
- ◎25 周年記念徳島二紀展 (22. 8.10 ~ 15)
- ◎第 34 回 15 人展 (22. 8.25 ~ 29)
- ◎第 40 回記念直心会書展 (22. 9. 3 ~ 5)
- ◎第 14 回旺美展 (22. 9. 8 ~ 13)
- ◎第 74 回書芸院展 (22. 9. 9 ~ 12)
- ◎第 50 回記念写楽会写真展 (22. 9.10 ~ 12)
- ◎第 66 回青年美術家クラブ展 (22. 9.10 ~ 13)
- ◎第 55 回書協人展 (22. 9.10 ~ 12)
- ◎本田英之写真展 (22. 9.15 ~ 10.3)
- ◎第 42 回石井美術の会作品展 (22. 9.16 ~ 20)
- ◎第 5 回市場油絵会作品展 (22. 9.16 ~ 20)
- ◎第 39 回徳島雪心会書作展 (22. 9.18 ~ 20)
- ◎第 16 回徳島障害者芸術祭 エナジー 2010 (22. 10. 5 ~ 10)
- ◎第 12 回大貝久義個展 (22. 10. 6 ~ 25)
- ◎三谷ミヤ子／南城ミツ子二人展 (22. 10.7 ~ 11)



- ◎書道企画展「YU-ICHI 展—常識に非ざる一字書—」 (22. 10.9 ~ 11.21)
- ◎書道企画展「都郷鐸堂名品展—鬼才が織り成す空間美—」 (22. 10.9 ~ 11.2)
- ◎第 22 回睦月会書展 (22. 10.27 ~ 29)
- ◎第 25 回藍美展 (22. 10.31 ~ 11.3)
- ◎「今、伝えたい、徳島・先人の言葉たち」巡回展 (22. 11.13 ~ 21)
- ◎第 3 回春琴とその仲間たち「いのち」を書く展 (22. 11.13 ~ 15)
- ◎第 9 回一心会書展 (22. 11.14 ~ 16)
- ◎第 16 回六書会書展 (22. 11.19 ~ 21)
- ◎第 40 回芳藍書道展 (22. 11.19 ~ 21)
- ◎第 3 回徳島絵画美学展 (22. 11.26 ~ 29)
- ◎第 5 回写真同人「光」写真展 (22. 11.27 ~ 29)
- ◎「今、伝えたい、徳島・先人の言葉たち」巡回展 (22. 11.27 ~ 12.2)
- ◎第 40 回日本リアリズム写真集団写真展 (22. 12.3 ~ 5)
- ◎第 6 回吉野川市書人会書作展 (22. 12.3 ~ 5)
- ◎第 14 回せせらぎ書展 (22. 12.4 ~ 6)
- ◎本田英之「塾」写真展 (22. 12.6 ~ 10)
- ◎第 8 回徳島版画展 (22. 12.8 ~ 12)
- ◎創立三十周年記念第 15 回尚真書展 (22. 12.10 ~ 12)
- ◎第 39 回歳末チャリティー 作品・色紙即売展 (22. 12.11 ~ 13)
- ◎第 31 回臨池書展 (22. 12.11 ~ 12)
- ◎第 33 回泉心会書作展 (22. 12.23 ~ 26)
- ◎第 25 回記念正鋒会書展 (23. 1.21 ~ 23)
- ◎第 35 回記念東玄書道会展～夢～ (23. 1.28 ~ 30)
- ◎第 15 回悠美展 (徳島県退職教員協議会作品展) (23. 1.28 ~ 30)
- ◎第 36 回四国大学書道文化学科卒業制作展 (23. 2.7 ~ 13)
- ◎第 21 回美術文化徳島支部展 (23. 2.10 ~ 15)
- ◎第 9 回現代墨絵・彩墨画・日本画展 (23. 2.11 ~ 13)
- ◎第 42 回ナルトぴんぼけクラブ写真展 (23. 2.11 ~ 13)
- ◎書道企画展「書画文房具を楽しむ (Ⅱ)」 (23. 2.16 ~ 3.13)
- ◎書道特別展「梧竹の大作展」 (23. 2.16 ~ 3.13)
- ◎第 31 回書研社展 (23. 2.25 ~ 27)
- ◎本田英之とクラブ合同写真展 (23. 3.4 ~ 7)
- ◎徳島大学書道部 OB 会書作展 (23. 3.9 ~ 13)
- ◎第 5 回桂和会書展 (23. 3.11 ~ 13)
- ◎第 45 回書道研究 清潮書作展 (23. 3.18 ~ 20)
- ◎青彩美術展 (23. 3.24 ~ 27)
- ◎第 8 回五果会書道展 (23. 3.25 ~ 27)
- ◎第 2 回絵画教室アワ・アート作品展 (23. 3.30 ~ 4.3)

## 平成 23 年度 役員名簿

会 長	河 崎 良 行		理 事	鎌 田 邦 宏
副会長	春 藤 大 耿		"	井 下 俊 作
"	西 南 龍		"	上 月 佳 代
理 事	西 野 和 男		"	七 條 猪三郎
"	橋 本 正 弘		"	山 上 馨
"	中 川 健		"	多智花 佐代子
"	岡 英 彦		"	松 下 雄 介
"	榊 田 務		"	荒 井 彭 仙
"	黒 崎 志 郎		"	勝 瀬 景 流 (平 23.12.5 死去)
"	松 川 寛		"	隅 田 英 二
"	露 口 敏 幸		"	竹 田 和 代
"	荒 井 賢 治 (平 23.11.22 死去)		"	田 中 一 郎
"	上 野 照 文		"	福 井 章
"	橋 本 圭 祐		"	坂 本 三千一
"	井 藤 光 章		"	沢 口 功
"	林 敏 彦			
"	増 田 寿		監 事	佐 藤 隆
"	松 永 勉		"	森 賢 一
			顧 問	西 條 征 二
			"	長 尾 弘 子
			"	佐 野 比呂志
			"	櫛 淵 魏

# 平成 23 年度 各部役員名簿

## 日本画部

部会長	西 野 和 男
委 員	長 尾 弘 子
〃	橋 本 正 弘
〃	中 川 健
〃	岡 英 彦
〃	土 井 洋 子
〃	土 方 るみ子
〃	日 浦 猛 史
監 事	長 谷 壽
〃	中 西 芳 雄

## 洋画部

部会長	榊 田 務
委 員	佐 野 比呂志
〃	松 川 寛
〃	黒 崎 志 郎
〃	河 田 安 市
〃	中 辻 奈美枝
〃	西 川 周 三
〃	玉 田 秀 子
〃	長 尾 弘 久
〃	露 口 敏 幸
〃	越 久 高 照
〃	鈴 木 敬 子
監 事	田 中 シゲミ
〃	伊 勢 浩 章

## 写真部

部会長	上野照文
委員	荒井賢治 (平 23.11.22 死去)
〃	井藤光章
〃	橋本圭祐
〃	林敏彦
〃	岩崎英昭
〃	梅本貞範
〃	賀川泰弘
〃	川真田慶治
〃	後藤能大
〃	佐治孝
〃	田村泰弘
〃	伊達照子
〃	中川定典
〃	西野倫子
〃	野藤みきよ
〃	平野史子
〃	古井謙吉
〃	船越正文
〃	堀口幸男
〃	増田寿
〃	三木晴夫
〃	森住博
〃	大和健司
監事	井上憲治
〃	阿部啓三

## 彫刻部

部会長	松永勉
委員	河崎良行
〃	濱口惠
〃	佐藤隆
〃	井下俊作
〃	鎌田邦宏
〃	東光司
監事	居上真人
〃	上月佳代

美術工芸部

部会長	七 條 猪三郎
委 員	山 上 馨
〃	矢 野 款 一
〃	多智花 佐代子
〃	松 下 雄 介
〃	松 下 慶 一
〃	橘 恵
〃	森 賢 一
〃	吉 田 敏 明
〃	斎 藤 和 彦
〃	藤 井 哲 信
監 事	森 明 治
〃	犬 伏 絢

書道部

部会長	荒 井 彭 仙
委 員	東 南 光
〃	伊 丹 東 龍
〃	勝 瀬 景 流 (平 23.12.5 死去)
〃	亀 石 文 苑
〃	河 野 真 流
〃	近 藤 静 苑
〃	清 水 桂 月
〃	島 田 小 園
〃	春 藤 大 耿
〃	隅 田 英 二
〃	武 市 鳴 雲
〃	竹 田 和 代
〃	多 田 清 芳
〃	玉 城 乾 香
〃	中 尾 勝 子
〃	長 原 皋 聖
〃	永 松 春 苑
〃	西 南 龍
〃	能 仁 華 瑤
〃	長 谷 美 峰
〃	浜 佳 香
〃	前 川 古 舟
〃	美 馬 幾美賀
〃	宮 井 青 雨
〃	山 口 華 城
〃	青 木 東 原
〃	馬 居 汀 香
〃	大 下 江 波

" 冲 田 唐 谷  
 " 川 上 虹 泉  
 " 河 野 多 美  
 " 川 村 春 琴  
 " 駒 田 水 洗  
 " 洲 崎 忠 峰  
 " 鈴 木 惠 理  
 " 高 田 青 蓮  
 " 谷 口 清 水  
 " 林 美 雪  
 " 張 美 鶴  
 (平 23.5.19 死去)  
 " 福 永 美 泉  
 " 藤 村 柳 葉  
 " 南 溪 石  
 " 赤 川 景 舟  
 " 東 弥 生  
 " 井 上 虹 雨  
 " 上 田 輝 芳  
 " 内 田 麻 紀  
 " 阿 部 博 子  
 " 岡 島 順 子  
 " 加 村 喜美子  
 " 河 野 静 江  
 " 倉 本 景 雨  
 " 下 村 清 子  
 " 鈴 江 美音子  
 " 富 久 鳴 泉  
 " 中 谷 史 子  
 " 藤 原 育 代  
 " 宮 守 崇 流

" 向 井 京 子  
 " 森 光 翔  
 " 山 本 景 琴  
 " 岩 本 志 豪  
 " 大 西 清 葩  
 " 川 端 康 清  
 " 川 又 晃 容  
 " 岸 緑 香  
 " 幸 田 清 尚  
 " 芝 原 醒 鶴  
 " 高 瀬 大 峯  
 " 玉 城 乾 舞  
 " 長 原 皐 月  
 " 仁 木 志 香  
 " 平 岡 幽 琴  
 " 福 山 皐 伶  
 " 丸 岡 香 貞  
 " 丸 田 惠 風  
 " 森 本 成 玉  
 " 山 口 幽 径  
 " 日 下 溪 翠  
 " 原 田 霄 月  
 " 三 浦 富美代  
 " 薄 田 玲 泉  
 監 事  
 "

## デザイン部

部会長	田 中 一 郎
委 員	坂 本 三千一
〃	福 井 章
〃	沢 口 功
〃	敷 島 のり子
〃	吉 本 實
〃	北 島 豊 嗣
〃	四十宮 隆 志
〃	斎 藤 志津子
〃	西 林 良 枝
監 事	斎 藤 繁 次
〃	坂 野 美恵子

# 徳島県美術展開催運営要項

## 第1条（名称・開催目的）

本展は徳島県美術展「以下（県展）という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

## 第2条（主催団体）

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

## 第3条（開催運営の組織）

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」とを設置する。運営委員、事務局員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

### 【県展運営委員会】

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長、副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から3名の合計21名でこれを構成する。運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

1. 開催運営の基本事項について審議決定すること。
2. 審査員の推薦決定に関すること。
3. 審査方法、表彰に関すること。
4. 収支予算、決算の承認に関すること。
5. その他県展開催に必要なこと。

### 【県展事務局】

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社企画事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会各部会から2名、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社2名の計17名で構成する。事務局員の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

1. 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
2. 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
3. 審査員候補の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等に関すること。
4. 収支予算案の作成に関すること。
5. 開会式、表彰式の準備に関すること。
6. 広報PRに関すること。
7. その他県展開催の下準備に関すること。



#### 第4条（出品部門）

県展の出品部門は、日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

#### 第5条（展示作品）

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

1. 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

2. 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

(1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

(1) 特選を連続3回得たもの。

(2) 年間を問わず特選を4回得たもの。

(3) 年間を問わず特選及び準特選を6回得たもの。（特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする）

(4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

(1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、名誉会長、参与、審査員及び各部の会長、顧問、参与。

(2) 各部の会長を永年勤めて実績があり運営委員会の議を得た方。

(注) ① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

#### 第6条（審査員）

審査員は県外審査員とする。審査員の選任は県美術家協会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い、運営委員会の議を経て決定する。

#### 第7条（審査）

審査は公開により行う。

#### 第8条（入選、入賞数）

1. 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

区 分	特 選	特別賞（特選の中から1点）	準特選	奨励賞	入 選
日 本 画	2	徳 島 市 長 賞	3	3 以内	規定数
洋 画	3	徳 島 新 聞 社 長 賞	6	5 "	"
写 真	4	四 国 放 送 社 長 賞	9	8 "	"
彫 刻	1	徳 島 県 美 術 家 協 会 長 賞	2	2 "	"
美術工芸	2	徳 島 県 知 事 賞	4	3 "	"
書 道	8	徳 島 県 議 会 議 長 賞	14	13 "	"
デザイン	2	徳 島 県 教 育 委 員 会 教 育 長 賞	3	3 "	"

※特別賞は各部門の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。

賞はいずれも同格で毎年部門により一つずつ変更し賞を贈ります。

#### 第9条（表彰）

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

1. 特 選……賞状、賞金
2. 準特選……賞状、賞金
3. 奨励賞……賞状、記念品
4. 入 選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

1. 徳島県知事賞 1名
2. 徳島県議会議長賞 1名
3. 徳島県教育委員会教育長賞 1名
4. 徳島市長賞 1名
5. 徳島新聞社長賞 1名
6. 四国放送社長賞 1名
7. 徳島県美術家協会会長賞 1名

◎特別賞の選考方法については別に定めるものとする。

#### 第10条（収支予算）

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

1. 出品料
2. 入場料

3. 図録売り上げ代金及び広告料
4. 各種補助金
5. その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い、必ず証票をとり、毎年12月末に決算を行い、2月に開催する運営委員会に報告し承認を得るものとする。

#### 第11条（出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

1. 県美術家協会会員の出品料は、1点目3,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
2. 一般の方の出品料は、1点目4,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
3. 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は1点3,500円とする。

#### 第12条（入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- |           |          |         |
|-----------|----------|---------|
| 1. 一般・大学生 | 前売り 500円 | 当日 700円 |
| 2. 高校生    |          | 当日 300円 |

#### 第13条（附 則）

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

- |            |      |
|------------|------|
| 平成4年2月22日  | 一部改正 |
| 平成4年5月16日  | 一部改正 |
| 平成8年5月25日  | 一部改正 |
| 平成11年5月14日 | 一部改正 |
| 平成13年5月30日 | 一部改正 |
| 平成14年9月25日 | 一部改正 |
| 平成17年6月14日 | 一部改正 |
| 平成18年4月11日 | 一部改正 |
| 平成23年2月20日 | 一部改正 |

# 第 66 回徳島県美術展記録

会 期 第 1 期 平成 23 年 10 月 8 日 (土) ~ 16 日 (日)

第 2 期 平成 23 年 10 月 18 日 (火) ~ 25 日 (火)

会 場 あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)

## 日本画

[審査員] 宮 いつき

[特別出品] 長尾 弘子 西野 和男

[招待] 中川 健 岡 英彦 土方るみ子 土井 洋子 中西 芳雄  
日浦 猛史

[賛助出品] 長谷 壽

[特 選] 坂 容子 (徳島市長賞)

平野 真里

[準特選] 柳田 一子 齋藤 久男 三谷 浩三

[奨励賞] 西條由希子 吉村 敬子 梶浦 千瑞

[入 選] 森岡 順子 中川 緑恋 河野 陽香 馬木美代子 籾 つかさ

天羽 弘毅 五宝喜美子 宮越 千佳 水田 貴子 糀 智子

大塚さや香 西岡 ちほ 井上 弘子 岩脇 恵子 有井 和子

新居麻里子 森崎 雅子 川真田哲雄

石原 千鶴 藤井 吉信 秋月ヒサヨ

## 洋 画

[審査員] 大津 英敏

[特別出品] 佐野比呂志 榊田 務

[招待] 清水 亟悞 楠瀬 等 露口 敏幸

[賛助出品] 黒崎 志郎 松川 寛 中辻奈美枝

[特 選] 伊勢 浩章 (徳島新聞社長賞)

近藤 克子 玉田 秀子

[準特選]	手塚 充子 林 敏雄	野口 暁子	中島 洋子	簗手日登美	二條 均
[奨励賞]	浦川 起世	田中 敏雄	高橋 照子	西川 周三	鈴木 敬子
[入選]	澤井 敏隼 蔭山賀代子 河野 多恵 美木 要子 三谷多美子 山口トシ子 橋本 麻由 藤井 文明 和田 寿子 野口 義仁 上田 幸子 宮田真菜美 加川由紀子 三木 洋子 小泉たか子 福良 哲子 大南 芳子 田中 康子 松浦 英子 遠藤 博之 日野 邦恵 尾西 敬子 宮本 典代 青木 成実 増喜 昭文	平土 浩 島村 英之 伊良原貞子 瀬川 政子 阿部 昌子 島田 純江 眞鍋たえ子 宮内 一子 川人 則子 鈴木 陽子 岡本 英見 篠原 昭子 丸関 朋子 佐々木公子 立石かよ子 藤井 香世 青木 幸子 松下 総子 田村仁保子 佐藤 友美 浅野さおり 竹内 れい 細川 禮子 菊本 静子 吉田 玲子	日野貴美子 宮浦 和子 前川 富子 中野 芳輝 野田 喜子 林 文子 三谷ミヤ子 脇 裕子 姫田 正義 島津加寿子 市橋 美緒 藤本真佐子 笹田 義宏 西川 敬子 野村 雅子 瀧田八重子 加賀谷愛美 林 静代 馬淵 尚子 阿部 末美 川中比沙子 堀江 幸子 黒島 貞子 小川しのぶ 井内美智代	宮田 京子 近藤 真有 丸尾 佳穂 富浦 道子 久保 和子 竹原 良亮 増田 政春 西川 照美 犬伏美智子 大津 憲文 田中シゲミ 岩井 千晴 富田 君子 下内 一弘 浅野 近男 佐藤 敬子 山口 明美 米津 良子 新藤佐代子 阿部 文代 高橋 都子 土橋 正子 中川 清隆 住友 義彦 大西 文代	大串 直行 中山 清一 杉本 祥子 檜 優理恵 新納 千尋 和田津かね子 橋本 浩史 藤峰 正昭 近藤 真澄 赤松 伸一 富岡 晴恵 藤本 千秋 山内 雅文 馬淵 博子 宇高 桂子 柏木 安代 藤原 知世 脇本 清美 梅津美砂代 武田 洋子 細谷 孝子 谷口 園 西條 明彦 越久 高照 藤本 友香

# 写 真

- [審査員] 江成 常夫
- [特別出品] 三好 和義    西條 征二    櫛淵 魏    荒井 賢治
- [招待] 木田 英之    勝西 雅夫    上野 照文    森 賢一    橋本 圭祐  
 前浦 芳久    林 敏彦    古井 謙吉    井藤 光章    増田 寿  
 柳本 正    大和 健司    船越 正文    堀淵 完治    岩崎 英昭  
 久保 英樹
- [特選] 平野 史子 (四国放送社長賞)
- 岩本 宏子    櫛淵 紳哉    川真田慶治
- [準特選] 堀口 幸男    阿部 啓三    松田みゆき    宮前 稔    多川 静守  
 福井 邦博    姫野 博司    田中 伸廣    森住 博
- [奨励賞] 岸本 英紀    岸 和幸    吉村 敏嗣    中川 定典    矢部 弘子  
 山田 勝二    氏師 敏晴    石川 徹雄
- [入選] 久我 千鶴    井上 翔    川口 進    阿部 佳史    谷 ひづる  
 熊谷美智子    山上 堯    大西 雅子    中野みどり    山口 正明  
 住友 登    阿部千代恵    大津 勝治    国見 良幸    喜多 倉吉  
 池添 秀信    野藤 敏美    野藤みきよ    三原 弘枝    井上 秀人  
 幸山 元子    早淵 茂    梶本 義人    泉 清美    大西 啓子  
 西岡まゆみ    志摩 育美    四宮 正恵    吉田 俊子    村山 松子  
 福井 純子    岸 由美    林 好一    新居 修    島 廣幸  
 山橋 良治    日出 顕作    矢野 志江    山田 稔    谷 賢太郎  
 富岡佳代子    高曾根信義    小原 治    辻 絹子    武田 吉子  
 土橋 成行    幾田 茂仁    市川 正二    米澤 正博    関口つとむ  
 姫田 慎治    田村 泰弘    増谷 好子    松村久美子    松家 安信  
 辻 義徳    板東よしお    埴淵 節子    長田 貞男    二階 博司  
 梶村 明美    斎藤 幹夫    山下 修司    大和 章人    米塚 稔  
 山本 雅敏    渡邊 信二    榎本 真悟    秋山 修一    郡 訓子  
 郡 英明    久保 翠    久保 朋也    四宮 清文    篠原 光彦  
 島 祥子    西野 倫子    野口 道子    橋本 勝    橋本 雅子  
 富士 弘子    布川 守    原田 章一    福永 豊    林 広司

佐竹 治	阿部 久雄	折野 彩	松浦 孝	久保 祐一
木下 昇	鳥井 敬一	富加見美枝	山下 善廣	石本 隆二
寺内 靖	丈池 孝子	阿部 君子	蔭山 英和	橋本 博美
長岡 和美	富吉 伸明	有馬 正司	伊達 照子	小川 勝
武地 雅	賀川 泰広	山田 卓	喜多 昌弘	櫛谷 文次
有馬 あい	庄野 里美	臣守 澄江	大塚 尚	三見 義雄
阿部 隆雄	城田 清志	佐藤 進	神野 太三	長尾 守
山下 助信	三木 理司	佐滝 宏和	野口 佳一	菅本 徳計
赤尾 壽一	上杉 大一	根ヶ山 治	竹内 一雅	南 賢治
笠井 房子	宮崎 敏晴	福原 和代	高野 作男	稲垣 喜修
坂田 一郎	佐藤 義雄	原田 宏	板東 泰雄	高見喜美男
井上 憲治				

## 彫 刻

[審査員] 深井 隆

[特別出品] 河崎 良行 佐藤 隆

[招待] 井下 俊作 鎌田 邦宏 松永 勉 居上 真人 上月 佳代

[賛助出品] 長岡 強

[特 選] 木村 大志 (県美術家協会会長賞)

[準特選] 武田亜希子 増田 有美

[奨励賞] 大貝 寿子 齊藤 綾子

[入 選] 大貝 貞雄 高丸 公相 東 光司 野方 健司 小林 正則  
磯田 有里 中川 伸一 服部 佳弘 長田 寛人 新居千枝子

## 美術工芸

[審査員] 大樋 年朗

[特別出品] 七條猪三郎

[招待] 多智花佐代子 松下 雄介 松下 慶一 森 賢一 橘 恵

- 犬伏 絢
- [贊助出品] 中川 存 矢野 款一
- [特 選] 田村 純子 (徳島県知事賞)
- 越 由子
- [準特選] 大貝 貞雄 丸居 哲雄 穴山千代子 齋藤 和彦
- [奨励賞] 大貝 寿子 四十宮年代 藤井 哲信
- [入 選] 吉田 陽子<sup>(2)</sup> 南 郁代 南 泰樹 大井川良江 秦 信子
- 長尾 敏子 和佐 豊子 大貝 寿子 浅山 義明 中西 達也
- 高瀬 裕司 佐治 孝 阿部 巍<sup>(2)</sup> 永峰 君代 妹尾 文子
- 前田 道子 遠藤 好子 釜内 哲子 重本 信介 松本みづる
- 吉野 由紀 四宮 千代 平尾 静子 谷中 弘子 小川 光
- 梶本 雅樹 鈴江 正子 近藤美佐子 板東 啓子 島崎 明美
- 木田サチコ 大貝 貞雄 平岡英津子 野村 裕子 大西 君代
- 小橋美知子 宮本 薫 石井 春夫 三木シズ子 梶浦 洋一
- 亀井 良子 伊藤エミ子 武田 純子 石田 艶子 武田 潤子
- 西内 貞二 藤川 みよ 東 慶子 龍木 秀子 筒井 節子
- 小林 鳳美 生原 靖大 相原 良平 福本美智代 原田 明子
- 手塚 健一 吉田 眞弓 加藤 和美 横井嘉世恵 小林 義治
- 近久千加代 穴山千代子<sup>(2)</sup> 小栗加代子 萬藤 武徳 高松 正彦
- 平井 恵子 山本 由実 近藤 川津 江角 久子 林 恵子
- 田村 恵子 青木 壽美 工藤 芳栄 白田 明代 富永 和代
- 真鍋 諱弘<sup>(2)</sup> 阿部 能則 宇都宮二美 加藤 伴江 和佐 勝代
- 仁田 和子 安富 順子 家形笑美子 矢野 藍游 松原 敦子
- 吉田 敏明 前野 亮治 近藤佐起江 鳥井 明子 田村栄一郎
- 下内 良一 吉田 祐子 森 明治 松本 宏 林 恵子
- 梶 幸子 内藤 久子 大本 圭子 鈴江 文子 石田 節子
- 森 克江 藤中 教代 村川 栄一 谷 麻子 高木 洋子
- 松下 敏之 谷崎美沙江

## 書 道

- [審査員] 土井 汲泉 舟尾 圭碩 百瀬 大蕪



[特別出品] 春藤 大耿 西 南龍 荒井 彭仙  
 [招待] 宮井 青雨 長原 皋聖 成尾 莊秀 原田 霄月 芝原 醒鶴  
 前川 古舟 清水 桂月 美馬幾美賀 中谷 史子 長谷 美峰  
 勝瀬 景流 川上 虹泉 近藤 静苑 日下 溪翠 岡島 順子  
 竹田 和代 山口 華城 藤若 美風 武市 鳴雲 中尾 勝子  
 富久 鳴泉 永松 春苑 島田 小園 坂本 霄風 浜 佳香  
 隅田 英二 松本 清香 多田 清芳 玉城 乾香 薄田 玲泉  
 能仁 華瑤 高田 青蓮 三浦富美代 宇山 泰鳳 龜石 文苑  
 岩本 志豪 林 桂翠

[無鑑査] 山口 幽徑 米澤 東籬 平岡 幽琴

[贊助出品] 東 南光

[遺作出品] 新居 藍州

[特選] 矢部 知子 (徳島県議会議長賞)

澤本 鈴美 戸出 浩子 河野多美子 森 裕美子 向井 境子

玉城 若菜 長原 七与

[準特選] 西岡田さつき 林 みゆき 福家 佳余 福本 昌代 谷本 洋子

田淵 勲 宮守 とみ 阿部 博子 山本 愛美 向井 京子

高瀬 善郎 丸田 三恵 西岡 珠子 中川 博雅

[奨励賞] 秦 知美 鈴木エリ子 川村 真澄 丸岡 由美 益岡 輝実

石川 翔子 蓑毛 真琴 山本 美幸 東 弥生 詫間 勝子

川端喜美子 岸 緑 大前 紀子

[入選]

漢字の部

永岡ツタエ 河野久美子 節 品子 吉平 順子 園尾 淑子

中川 恵 河野 永子 平野 実 小西 結貴 東條 裕子

中尾三智子 川道 伸弘 坂本 敬子 中田 有美 大平美代子

前田 麻子 宮脇 郷子 若木 恭子 馬居美智恵 春藤 真紀

山下弥栄子 片山 芳明 弘田 敏章 新見 辰馬 中西 淑子

春藤 秀子 田上 洋子 中村 美子 谷 令子 横田 典子

鳩成 広美 阿部 千明 日下 真宏 村部 紘子 森 和子

仁木 輝実 堀江 孝己 谷 弘美 大塚 洋子 安友 彰子

米倉由加里 吉村 敬子 佐々 京子 後藤 紀代 河見 忠信

熊代 厚子	藤村 恭子	沖田 章代	青木 博美	藤山真由里
鴻野千賀子	高橋 信子	伊達三智子	笠井 仁美	恵美 恵子
立石 泰生	佐野 陽子	林 芳子	大本由紀子	河野 梅子
板東 一男	高柳 由美	荒井 和子	後藤田清子	瀬山奈緒美
近藤 道子	岡部ひとみ	佐藤美智子	駒田 澄子	白山富美絵
服部 弘子	中村 志帆	八木 澄江	山崎 真美	井上 真梨
寺田 美穂	大下 富江	陶久 房枝	中川恵美子	三崎美佐代
大野シゲ子	村部 幸子	奥田 文子	杉本 妙子	笠原 笑子
岡本美津代	折野 茂幸	四宮 恭子	上野 益代	岸 浜子
西改 俊子	四宮 仁美	森本真由美	金子 博明	平田 真紀
東野 恵巳	藤永 真里	松田 理沙	郡 彩佳	上野 帆南
一宮 明美	横田 典子	荒川 佳子	野口 有香	坪内佐智子
辻 尚子	有井 清	稲木 裕美	安原 照代	丸岡 真弓
山城美三子	三好 啓子 <sup>(2)</sup>	市原 典子	酒井やすえ	森本 数子
松本 雍司	原 貞子	粟田 正治	飯田 公子	上田美千代
川辺 光俊	北村 浩子	豊浦 佳子	花本ふくみ	峯野 智鶴
細井 守	礪川 味佳	武市めぐみ	真鍋 洋子	丸瀬 裕史
南 知枝	寺内 金子	寺内 絹恵	谷口 統雄	松永 浩子
岡本 朱美	清水 宏子	妹尾 寛子	渡部 敦子	田中 育子
田中 偉嗣	糺 真理子	藤川 咲	河野 真依	小林 忠志
渋谷 拓明	東江 美優	小津美奈子	田村 元帥	吉田 幸代
忠津 安子	勝浦 美和	吉川 芳子	亀川 遥加	竹田千鶴子
近藤 美絵	恵内 貞子	萩原 陽子	岸本 廣江	由宇 典代

篆刻の部

横田 雅夫	植上富美子	後藤田美智子	前田三枝子	高柳 由美
松村 史子	森上佳衣子	力武 大浩	射場 博子	

仮名の部

遠藤 孝子	背川 章子	井内 光子	中原久美子	吉田 幸子
柏原 善子	原口 栄子	荒木喜美子	橋本 修一	河野紀代子
加藤 昭子	松本由希子	竹内 英子	井上 まり	沖野 道代

石橋 幸恵	住友 裕子	井上 彰夫	廣瀬 久代	上田 久恵
川口 珠枝	倉本 節子	竹中 敏恵	遠藤 由子	山蔭 和代
高橋加奈子	佐川 公子	赤川久美子	森 弥生	湊 泰子
水口 久枝	繁崎登美子	藤本 晴美	野木 友美	皆谷 露子
折野 佳子	寺尾 俊通	伊藤 秀子	坂本 敬子	永岡ツタエ
古谷 和代	井上小百合	金子 博明	小西 千恵	福島 由子
妹尾 敏子	桑原 亮介	井上 智世	鈴江美音子	河野 静江
藤原 育代	森 美佳	松本トキ子	杉本 裕子	加村喜美子
田岡佐記子	脇坂 優	和泉かず子	原田 葉子	吉田 好孝
畠山 政子	山橋不二子	高木美賀子	藤井三樹子	内田 麻紀
井口 ひろ	菖蒲 和代	平尾 卓美	桑村 美慧	林 英子
小川 瞳	斎藤 弥生	今津 英子	坂本 恵美	日下壽美子
濱口 恵	笹木 明華	田村富士子	内田 道幸	内田美代子
中筋 良江	関根 史子	久住 律子	喜多美千代	近藤真千子
山本 恵子	贄田美恵子			

近代詩文の部

坂尾 俊一	佐藤 恵子	庄野ゆかり	高橋美知江	武田 淳子
玉城 安和	玉城 豪	茶谷 文子	富永美知子	長尾由美子
仁木シモエ	野口 晴世	野田 洋子	春川 登	福山 啓子
藤原 一子	正見 千恵	松岡 文子	松島 宏	丸岡 良子
向井 通子	大津 明美	森浦 和子	森本 陽子	横関久美子
吉坂希実子	吉田さい子	吉野 美保	渡邊 亜希	朝三 和子
芦谷 后子	荒井 弥和	生野 久美	今治 宏美	居和城幸代
岩崎 麻美	遠藤玻都恵	遠藤 禎子	大井多鶴子	大石 正
檉山 正代	大西 英子	大西千鶴子	小野 幸久	川下小夜子
川又 敏香	木田 史子	木内 典代	桐生 弘美	栗林 和江
桑村 清	幸田 康代	児玉 幸子		

前衛の部

大胡恵里香	里見 真美	阿部 公恵	長崎 香	山本 恵美
三浦 みや	水野 知子	大胡 真美	湊 優子	安丸 昌輝

細井 智加	荒川友加里	安喜美名子	梶川 佳奈	永井 厚子
村田 泰輝	中川 富量	島尾 明良	佐藤由紀代	義富 博正
小泉 一史	中川 洋子	中川 貴俊	佐藤 由衣	

## デザイン

[審査員] 佐藤 晃一

[特別出品] 坂本三千一 福井 章 田中 一郎

[招待] 斎藤 繁次 坂野美恵子 敷島のり子

[特選] 四十宮隆志 (県教育長賞)

佐山 梨奈

[準特選] 吉村 敏嗣 西條 明彦 斎藤 剛

[奨励賞] 安藝 知美 斎藤志津子 四十宮隆志

[入選] 林 敏雄 埴渕 照二 浜田 拓弥 近藤 真有 佐山 梨奈

武田 真依 溝渕 加奈 四十宮隆志<sup>(2)</sup> 明石 侑希 宗本真里奈

久米 紗代 三木由佳里 近藤 愛 吉村 敏嗣<sup>(2)</sup> 新納 千尋

服部 佳弘 田村 あい 東 早紀<sup>(2)</sup> 近清さよこ サカモトタクマ

斎藤 剛<sup>(2)</sup> 梅津 洋子 森岡 真菜 小川 菜々 佐々木 奏

## 第 66 回徳島県美術展出品・入選等状況

部門		日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
区分	出品点数	47	321	760	25	203	856	61	2,273
	出品者数	45	235	278	21	133	542	45	1,299
入賞・入選	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	6	9	2	4	14	3	41
	奨励賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入選数	21	125	141	10	111	334	29	771
	計	29	139	162	15	120	369	37	871
	率	61.7%	43.3%	21.3%	60.0%	59.1%	43.1%	60.7%	38.3%
落選	落選数	18	182	598	10	83	487	24	1,402
	落選率	38.3%	56.7%	78.7%	40.0%	40.9%	56.9%	39.3%	61.7%
特別等	特別出品	2	2	4	2	1	3	3	17
	招待	6	3	16	5	6	37	3	76
	無鑑査	0	0	0	0	0	3	0	3
	賛助出品	1	3	0	1	2	1	0	8
	遺作出品	0	0	0	0	0	1	0	1
	計	9	8	20	8	9	45	6	105
展示数		38	147	182	23	129	414	43	976

※ 各部門の特選数は特別賞 1 点を含む

# 徳 島 県 美 術

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	彫 塑
1	委 員	(野間 仁 根)	委 員	(太田 三郎)
2	大 栗 旌 折	野間 仁 根	上 田 備 山	田東 三郎
3	委 員	伊 原 宇三郎	同 上	(太田 三郎)
4	委 員	須 田 国太郎	同 上	鹿内 上
5	上 村 松 篁	田 村 孝之介	小 野 由 行	(太田 三郎)
6	西 山 英 雄	伊 藤 継 郎	川 崎 亀太郎	田東 上
7	山 口 華 楊	田 川 勤 次	棚 橋 紫 水	新 田 藤太郎
8	池 田 遙 村	須 田 剋 太	同 上	(太田 三郎)
9	水 田 竹 圃	小 出 卓 二	同 上	同 上
10	管 楯 彦	(鈴木 信太郎)	同 上	同 上
11	奥 村 厚 一	井 上 長三郎	岩 宮 武 二	同 上
12	浜 田 観	福 沢 一 郎	棚 橋 紫 水	同 上
13	小 松 均	藤 井 令太郎	同 上	(辻 晋堂)
14	秋 野 不 矩	針 生 一 郎	岩 宮 武 二	針 生 一 郎
15	奥 村 厚 一	向 井 潤 吉	棚 橋 紫 水	管 沼 五 郎
16	同 上	吉 原 治 良	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
17	松 尾 冬 青	中 谷 泰	同 上	向 井 良 吉
18	矢 野 鉄 山	池 島 勘治郎	同 上	安 田 周三郎
19	中 村 貞 以	森 芳 雄	堀 内 初太郎	堀 内 正 和
20	曲 子 光 雄	桂 ユキ子	岩 宮 武 二	植 木 茂
21	沢 野 文 臣	伊 谷 賢 蔵	同 上	佐 藤 忠 良
22	堂 本 阿岐羅	村 井 正 誠	同 上	辻 晋 堂
23	松 岡 政 信	山 下 大五郎	同 上	井 上 武 吉
24	山 崎 忠 明	大 沢 昌 助	棚 橋 紫 水	菊 池 一 雄
25	奥 村 厚 一	斉 藤 真 成	同 上	原 武 典
26	梶 喜 一	島 村 三七雄	同 上	掛 井 五 郎
27	上 原 卓	高 田 誠	伊 藤 知 己	松 村 外次郎
28	黒 光 茂 樹	中 間 冊 夫	岩 宮 武 二	小 島 広 志
29	松 岡 政 信	島 田 章 三	同 上	保 田 春 彦

# 展 審 査 員 一 覧

美術工芸	書 道	デザイン
鬼塚信之	委 員	
同 上	田 中 白 村	
同 上	炭 山 南 木	
同 上	炭山南木・織田子青	
同 上	手 島 右 卿	
(鬼塚信之 新田藤太郎)	同 上	
鬼塚信之	小 坂 奇 石	
明石朴景	辻 本 史 邑	
会田裕宣	織田子青(漢)・出口草露(仮)	
鴨 政 雄	松 井 恕 流	
近藤悠三	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
平松宏春	同 上	
同 上	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠	
大西忠夫	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
明石朴景	同 上	
平松宏明	同 上	
大西忠夫	同 上	
鴨 政 雄	同 上	
平松宏春	同 上	
内田邦夫	同 上	
山脇洋二	同 上	
槻尾宗一	同 上	
山脇洋二	荒井天鶴・後藤泰秀 田中栢翠・富永眉峰	
藤本能道	同 上	
三井安蘇夫	同 上	金 野 弘
六角穎雄	同 上	大 智 浩
鈴木貫爾	同 上	早 川 良 雄
田村耕一	同 上	原 弘

回数	部門 日本画	洋画	写真	彫刻 (46回まで彫塑)
30	黒光茂樹	田中岑	岩宮武二	篠崎明雄
31	河合健二	田中忠雄	同上	江口週
32	長谷川青澄	山口長男	(岩宮武二 伊藤藤知己)	一色邦彦
33	松岡政信	吉井忠	(岩宮武二 秋山庄太郎)	柳原義達
34	山岸純	小西保文	岩宮武二	清水九兵衛
35	樋笠数慶	荻太郎	同上	桜井祐一
36	坂口麻沙子	吉井淳二	同上	土谷武
37	下田義寛	野見山暁	同上	山本正道
38	同上	須田寿一	高田誠三	清水九兵衛
39	同上	斉藤真一	同上	清田孝一郎
40	下保昭	津高和一	(岩宮武二 高田誠三)	清水良治
41	橋田二朗	小松崎邦雄	奈良原一高	淀井敏夫
42	松本哲男	国領經郎	岩宮武二	木津一夫
43	山岸純	利根山人	三木淳三	橋本省
44	平川敏夫人	赤穴宏寛	高田誠三	山崎猛武
45	福井爽夫人	桜井寛衛	高三	土谷武郎
46	岩沢重夫	大森朔重	同 上	峯田敏弘
47	穂田一稗	大谷本重	立木義浩	小島弘造
48	田淵俊夫人	大沼映夫	杵島隆	建畠覚道
49	中路融人	馬越陽子	同 上	綿引道郎
50	下田義寛	三栖右嗣	奈良原一高	古島実子
51	工藤甲人	中根根寛	斉藤康一	恩田静子
52	那波多目功一	松樹路人	細江英公	石井厚生
53	那須勝哉	藤田吉香	高田誠三	香浦有爾
54	内田あぐり	奥谷博	同 上	小林陸一郎
55	松尾敏男	佐々木豊	大石芳野	日原公大
56	山崎隆夫	大津英敏	同 上	石黒鏘武
57	岩本和夫	山本貞穂	細江英公	原武二郎
58	大矢紀一	福島瑞忠	江成石野	菅原林二
59	竹内浩一	中山幸彦	大江成夫	米北郷一
60	小嶋悠司	絹谷本二	同 上	鈴木久悟
61	小宮廻正	山本文彦	同 上	鈴木久雄
62	能島和明	島田鮎子	英 伸 三	中垣克武
63	雲丹亀利彦	桜井寛	田 沼 武 能	林 田 武 史
64	西田俊英	塗師祥一郎	同 上	津田裕子
65	岡村倫行	金山佳子	三 好 和 義	津 建 島 朔
66	宮 いく	大津英敏	江 成 常 夫	深 井 隆



美術工芸	書道	デザイン (37回まで商業美術)
山脇洋二	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中一光
浅野陽	同上	奥野秀雄
前田泰次	同上	灘本唯人
山脇洋二	同上	大高猛
中村光哉	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・田中双鶴	福田繁雄
山脇洋二	田中栢翠・富永眉峰・新居藍州	永井一正
田村耕一	同上	山城隆一
同上	同上	栗津一光
山下恒雄	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中一光
同上	同上	長友啓典
浅野陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿	亀倉雄策
中村光哉	高原清泉・田中双鶴・田中栢翠・長江清幽	伊藤憲治
浅野陽	新居藍州・西岡楚峰	サイトウ・マコト
山下恒雄	明石春浦・坪井正庵	佐藤晃一
三浦小平二	桜井琴風・黒野清宇	河北秀也
松永勲	大岡皓崖・山田伍雲・西野象山	松永真己
山下恒雄	花田峰堂・小山素洞・東地滄厓	浅葉克己
島田文雄	浅見綿龍・森本妙子・加藤大碩	勝井三雄
大西長利	近藤撰南・東山一郎・中野北溟	五十嵐威暢
山下恒雄	谷村憲齋・植村和堂・太田義久	青葉益輝
島田文雄	安原皐雲・池田桂鳳・金子卓義	松永真丸
中井貞次	鈴木桐華・西本支星・金子聴松	安西水丸
栗木達介	尾崎邑鵬・井茂圭洞・大井錦亭	U. G. サト一
宮田亮平	栗原蘆水・榎倉香邨・種谷扇舟	早川良雄
松永勲	甫田鷄川・小山やす子・石飛博光	戸田正寿
竹内順一	杭迫柏樹・藤木正次・吉田成堂	杉浦康平
栗木達介	津金孝邦・池田桂鳳・松永暘石	秋山孝享
中井貞次	田中節山・村上俄山・黒田玄夏	遠藤誠平
島田文雄	宮崎葵充・赤江華城・金子卓義	中村良正
竹内順一	星弘道・宮重小蘭・西野象山	小島一実
宮田亮平	吉川蕉仙・清水透石・作田英嗣	新島健三
島田文雄	岩井韻亭・光宗道子・大井錦亭	松井桂三
増村紀一郎	伊藤天游・井茂圭洞・田岡正堂	河北秀也
石川充宏	稲垣菘圃・横山煌平・船本芳雲	勝井三雄
竹内順一	樽本樹邨・東山一郎・辻元大雲	佐藤晃一
山下了是	真神巍堂・前島泉洲・長谷川牧風	
大樋年朗	鈴木春朝・山本高邨・砂本杏花	
	大河内仙嶽・師田久子・飯高和子	
	土井汲泉・舟尾圭碩・百瀬大蕪	

# 第 19 回放美展記録

会 期 平成 23 年 5 月 2 日 (月) ~ 5 月 6 日 (金)

会 場 あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)

## 日本画

[審査員]	中川 健	土井 洋子	西野 和男		
[運営委員]	中西 芳雄	長谷 壽			
[美協理事]	岡 英彦				
[放美賞]	森本 秀代				
[優秀賞]	水田 貴子				
[梅岡トヨ賞]	藤井 美沙				
[入 選]	大黒 規子	糀 智子	川真田哲雄	秋月ヒサヨ	富永 博子
	中嶋 昌子	西岡 ちほ	新田カツ子	天羽 弘毅	中村真智子
	葛西 夏子	岩脇 恵子	馬木美代子	國尾由美子	鈴木 恵子
	中川 緑恋	西條由希子			

## 洋 画

[審査員]	露口 敏幸	中辻奈美枝	松川 寛		
[運営委員]	栢田 務	玉田 秀子			
[美協会長]	佐野比呂志				
[美協理事]	黒崎 志郎				
[無鑑査]	野口 暁子	田中 康子			
[放美賞]	北村 照子				
[優秀賞]	松浦 英子	小笠原秋子	米沢 博	近藤 克子	垣内 美月
	若林 咲希	服部 和代			
[梅岡トヨ賞]	粟飯原史帆				
[入 選]	田村仁保子	尾西 敬子	岩井 千晴	堀江 幸子	萩原 典子

新藤佐代子	蔭山賀代子	細谷 孝子	山口 興一	富岡 晴恵
丸関 朋子	田中千恵子	横井嘉世恵	前川 富子	藍谷 浩平
野上 恵子	武田 洋子	竹原 良亮	林 敏雄	阿部 幸子
土橋 正子	杉本 祥子	山口 明美	岩本トシ子	阿部 末美
眞鍋たえ子	高橋 都子	下内 一弘	前川フキ子	林 茂子
中川 禎子	西川 照美	坂東 弘子	村崎 恵子	長坂 芳子
鈴木 敬子	和田 寿子	米津 良子	白草 由子	森本 操
阿部 昌子	二階千鶴子	中内あい子	井沢 忠昭	多田美千代
佐々木公子	村川 榮一	東原 綺子	福田 友美	谷 慎也
増喜 昭文	長井 秀夫	中本真由美	市原 幸子	黒島 貞子
宮本 典代	立川 研	福田 紀子	松永 淳子	大南 芳子
尾浦 粹子	篠原 稔	西川なな実	枋谷なつみ	熊田 珠美
島田 純江	美木 要子	橋本 麻由	河野 多恵	横手 雅子
丸尾 佳穂				

## 写 真

[審査員]	上野 照文	荒井 賢治	井藤 光章		
[運営委員]	櫛淵 魏	橋本 圭祐			
[無鑑査]	西野 倫子	石川 徹雄	森住 博	梅本 貞範	森内 昭男
	佐治 孝	平野 史子	根ヶ山 治	野口 道子	
[放美賞]	松家 安信				
[優秀賞]	山田 卓	阿部 隆雄	岩本 宏子	山上 堯	三谷 美晴
	織野 明弘	大津 勝治	福井 純子	福井 邦博	大西 忠
	高橋 一恵	谷 ひづる	廣野美知子	郡 英明	福居 幹夫
	橋本 勝	島 祥子	久保 翠		
[梅岡トヨ賞]	八木真梨菜				
[入 選]	谷 賢太郎 <sup>(2)</sup>	森住 孝義 <sup>(2)</sup>	山田 卓	南 秀典	板東 泰雄
	阿部 君子 <sup>(2)</sup>	阿部 隆雄	妹尾 隆浩	泉 清美	水口登志夫
	岩本 宏子 <sup>(2)</sup>	乾 正治	山下 善廣	山上 堯	吉田 隆之
	大津 勝治	喜多 昌弘 <sup>(2)</sup>	斎藤 幹夫 <sup>(2)</sup>	堤 信寿	棚橋 仁志 <sup>(2)</sup>
	新田 晃	庄野 里美	猪熊 恵子	佐藤 義雄	岸 和幸 <sup>(2)</sup>

早渕 茂 <sup>(3)</sup>	南 敦子 <sup>(3)</sup>	岸田 義市	福井 純子 <sup>(2)</sup>	福井 邦博
井上 壽夫	中野みどり	河田 清 <sup>(2)</sup>	山口 正明	永峰 康則
佐藤 和恵 <sup>(2)</sup>	大西 雅子 <sup>(2)</sup>	田中 伸廣 <sup>(2)</sup>	大西 啓子 <sup>(2)</sup>	大西 忠
上杉 大一	有馬 正司	志摩 育美	渡辺 美鈴	氏師 敏晴
松浦 孝	富士 弘子	高橋 一恵 <sup>(2)</sup>	原 和夫	圓藤由貴子
福原 敏雄 <sup>(2)</sup>	西岡まゆみ	榎本 悟 <sup>(2)</sup>	土橋 成行 <sup>(2)</sup>	廣野美知子 <sup>(2)</sup>
辻 義徳 <sup>(3)</sup>	平澤 澄子 <sup>(2)</sup>	長浦 武尚	高木 信昭	村上富太郎
林 広司	川西 明雄 <sup>(2)</sup>	山本 宜司	四宮 清文	多田 進
久保 朋也	橋本 勝 <sup>(2)</sup>	米塚 稔 <sup>(3)</sup>	大和 章人 <sup>(2)</sup>	島 祥子
増谷 好子 <sup>(3)</sup>	福永 豊	武田 吉子	荒木 久美	富岡佳代子 <sup>(3)</sup>
郡 訓子 <sup>(2)</sup>	久保 翠	常陸 章	平澤 昭世 <sup>(2)</sup>	渡邊 信二
美崎 麻代	吉岡 明子	小阪 愛	松村久美子	山本 雅敏 <sup>(3)</sup>
原田 章一	山下 修司	南 佳江	西岡 祥一	松原 玲子 <sup>(2)</sup>
山下 助信 <sup>(2)</sup>	新居 修 <sup>(2)</sup>	佐倉 幹雄	坂田 一郎	林 好一
姫野 博司	宮前 稔	田中 義孝	稲垣 喜修	熊谷美智子 <sup>(2)</sup>
原田 宏	島 廣幸			

## 彫 刻

[審査員]	鎌田 邦宏	上月 佳代	長岡 強		
[運営委員]	松永 勉				
[美協副会長]	河崎 良行				
[美協理事]	井下 俊作				
[無鑑査]	武田亜希子				
[放美賞]	三間富久美				
[優秀賞]	大貝 寿子				
[梅岡卜三賞]	鎌田真奈実				
[入選]	大貝 貞雄	佐治たかし	夢想 雲水	石田 政良	山崎 佳織
	斎藤 康男	左海 紗佳	米津 宏一	重高 未来	長田 寛人
	服部 佳弘	松田 海	古川 陽	石山 奈緒	

## 美術工芸

[審査員]	七條猪三郎	橘 惠	松下 慶一		
[運営委員]	森 賢一				
[美協理事]	多智花佐代子	松下 雄介			
[無鑑査]	加藤 伴江	吉田 陽子			
[放美賞]	松本 宏				
[優秀賞]	南 泰樹	和佐 勝代	矢野 藍游	森 克江	西 美稚子
	今川 博臣				
[梅岡トヨ賞]	松浦 里香				
[入 選]	大貝 寿子 <sup>(2)</sup>	大貝 貞雄 <sup>(2)</sup>	南 郁代	南 泰樹	浅山 義明
	家形笑美子	阿部 能則	横井嘉世恵	木村 秋夫	前野 亮治
	平尾 静子	大内 敏男	手塚 健一	石井 春夫	竹治 敦子
	清水由利子	板東 健三	佐藤 美枝	下内 良一	大本 圭子
	阿部 陽子	東條 容子	阿部まきみ	澤内 和代	阿部 巍
	小河原輝栄	矢野 藍游	黒川 佳代	柴 純代	高木 洋子
	梶 幸子	前田 一美	藤中 教代	丸井 明希	高岡 舞衣
	白田 明代	大木 真澄	久米 和子	遠藤 好子	宮本 薫
	松永 卓司	秦 信子	西内 貞二	廣瀬由美子	曾 江司
	木田サチコ	櫻間 修子	相原 良平	四宮 千代	高瀬 裕司
	石田 艶子	板東 啓子	村川 榮一	眞鍋 謙弘	青木 壽美
	吉野 由紀	向 紫	山本 由実	近藤 川津	工藤 芳栄
	山西 政子	清原 眞弓	生原 靖大	鳥井 明子	鈴江 正子
	筒井 節子	楠 正陶	湯佐 安子	宮本 真弓	工房『寛・美』
	矢竹 源久	小林 義治	前田 道子	三宅 真衣	工藤 公子
	池田 恵子	谷中 弘子	椎野真理子	横山恵美子	山下壽美代
	生田 明子	小川 光	巽 安子	山村 啓子	瀬山 佳枝
	阪井 和代	竹田 充子	近藤佐起江 <sup>(2)</sup>	前田 和子	野口 茜
	和泉みゆき	中川 優香	森下 由加	松本みづる	近藤美佐子 <sup>(2)</sup>
	坂本 光美	佐藤アヤ子	宮田 千代	武田 潤子	萬藤 武徳

# 書道

[審査員]	武市 鳴雲	長原 皋聖	河野 真流			
[運営委員]	荒井 彭仙	日下 溪翠	宮守 崇流			
[美協理事]	隅田 英二	竹田 和代				
[放美賞]	井上 景玄					
[優秀賞]	丸岡 真弓	小西 裕琳	弘田 長風	山口あずさ	松田 理芳	
	松本 景芳	朝三 皐如	木内 皐蓉			
[梅岡卜ヨ賞]	上原 裕香					
[入選]	洲崎 忠峰	三原 京子	田村耕一郎	松本 観翠	市原 典子	
	鴻野千賀子	藤永 真里	佐滝 泉月	武市香於里	牧本ちあき	
	益岡 輝実	辻 光石	西改 俊子	森本 茂宏	四宮 仁苑	
	片山 保	森浦 皐芭	日下 旭	上野 益泉	吉田 靖流	
	須藤 華生	森本 数子	大和 公代	小野 宙成	仁木 光華	
	三好 元子	石田 杏奈	西上 奈甫	高松 輝子	河野 豊翠	
	谷岡 悦子	加藤 千枝	関 藤子	賀野喜代子	瀬尾 重信	
	小谷 桂甫	大倉 恭子	佐藤 弘子	木内 暎光	中山 菜生	
	中西 純子	森山 姜子	清水 宏子	井野 恵	後藤田美智恵	
	井内 久子	阿部 鳴石	妹尾 寛子	藤原 和代	渡部 敦子	
	岡本 朱美	木元 恒子	加藤 好堂	酒井 萌艸	土井 英恵	
	船橋 永	外山 絵理	平田 紀芳	柳本 真苑	廣瀬 蕙花	
	安丸 昌輝	安丸 直輝	町田 哲子	町田 奈那	桐生 美風	
	長原 皋月	檉山 咲聖	福山 皐怜	森岡嗣雅子	橋本 君代	
	芦谷 后子	板東 亜美	浅井 胡桃	福岡 知也	畑山菜津美	
	森西 麻帆	瀆 みなみ	甲斐安佑美	乾 信雄	松崎 美侑	
	池田愛理沙	高谷 綾花	黒田 恵子	忠津 絹恵	佐野 久美	
	新居 佳子	山本 直美	福有 紗季	樽井 沙和	高井ちなつ	
	弘田 彩	糺 真理子	守住佳余子	富永 裕子	野口 有香	
	西村 美保	荒川 佳子	井関 喜鶯	岸 千代	豊原 淳子	
	河野 真依	橋本 大季				

## デザイン

[審査員]	田中 一郎	敷島のり子	北島 豊嗣			
[美協理事]	坂本三千一	沢口 功				
[放美賞]	伊丹菜津子					
[優秀賞]	藤本 愛美	野中 弘美	河見 朱莉	森岡 真菜	堀貫 裕子	
[梅岡トヨ賞]	谷口 晴香					
[入選]	東 早紀 <sup>(2)</sup>	林 敏雄	譚 光辰	明石 侑希	林 玲穂	
	黒田なつみ	鈴木 恵理	山田 佳苗	島崎 菜々	梅津 洋子	
	河野 健	阿部のえる	熊野世璃菜	磯野 成美	関 由佳	
	杉本 愛奈	南東 陽美	川島 有未	河見 朱莉	上泉明日香	
	三角 菜摘	北野 智也	志摩 遥	中山 実樹	谷中 咲慧	
	中山 菜生	白石 恵里	遠藤 舞	神東 琴音	露口 恵理	
	高橋 由衣	政平菜々世	小西 真子	森田小夜里	吉田 実賀	

## 第 19 回放美展出品・入選等状況

部門		日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
区分									
	出品点数	27	183	441	22	157	192	113	1,135
	出品者数	27	150	183	19	112	166	108	765
入賞・入選	放美賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	優秀賞	1	7	18	1	6	8	5	46
	梅岡トヨ賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	入選数	17	71	146	14	104	102	36	490
	計	20	80	166	17	112	112	43	550
	入選率	74.1	43.7	37.6	77.3	71.3	58.3	38.1	48.5
選外	落選数	7	103	275	5	45	80	70	585
	落選率	25.9%	56.3%	62.4%	22.7%	28.7%	41.7%	61.9%	51.5%
無審査出品	審査員	3	3	3	3	3	3	3	21
	運営委員	2	2	2	1	1	3	0	11
	美協役員	1	2	0	2	2	2	2	11
	無鑑査	0	2	9	1	2	0	0	14
	計	6	9	14	7	8	8	5	57
展示数		26	89	180	24	120	120	48	607



# 各部記録

# 日本画部

部会長 西野 和男

## 年間展望

### ◎第19回放美展（5月2日～5月6日 あわぎんホール）

出品点数は27点。その中から入選20点、うち放美賞1点、優秀賞1点、梅岡トヨ賞1点を選んだ。放美賞の森本秀代さん「希望」は、明るく、素直で、喜びに満ちた作品。後ろの花の部分を簡素化し、人物をより写實的に仕上げ、技術を超えた努力が見受けられた。

優秀賞の水田貴子さん「無常」は、難しい風景を作者の感性で造形的にとらえ、「これを描きたい」という作者の感動が表れている。地面と花、葉の關係に少し難を感じるが、技術的にもしっかりとした作品だ。

梅岡トヨ賞の藤井美沙さん「日曜日」は、斬新で高校生らしい作品。日常の情景を素直に表現し、技術的になりがちなところを自身の感情で表現している。

今回は、出品数が10点ほど減少したが、出品者の層が厚く、好感の持てる作品が多かった。いつも自分の描きたいものを大切にしながら努力を重ねてほしい。来年は、より多くの作家の出品を期待する。

出品点数の大幅な減少は、放美展の趣旨である新人の登竜門の意味合いからして残念な限りで、県内日本画関係者及び指導者において、今後の更なる努力を期待したい。

放美賞	「希望」	森本 秀代
優秀賞	「無常」	水田 貴子
梅岡トヨ賞	「日曜日」	藤井 美沙

### ◎第66回県美術展（10月8日～10月16日 あわぎんホール）

今回の審査は、創画会会員の宮いつき先生にお願いした。応募点数47点で、その中から特選(特別賞)1点、特選1点、準特選3点、奨励賞3点を含む入選29点を選んだ。宮先生からの総評は次のようなものであった。

上手いか下手かではなく、良い絵と思うか、悪い絵と思うかを審査の基準に選んだ。それはつまり、画面が面白いのか、面白くしようと意識しているか、創意工夫の効果が出ているか、ということだ。

徳島市長賞の坂容子「悠寂」は、黒と白を基調にした構成美が際立つ作品。ハスをモチーフにした絵は多い。しかし、画面の中に枯れたハスしか描いていないのに、茎、実、葉が斬新に構成されている。画面全体に対してのモチーフの大きさも的確だ。モノトーンの絵だが、よく見ると微妙に色が違い、作者のセンスの良さを感じた。

特選の平野真里「游（ゆう）」は、マチエールを生かした大胆な作品。海の中でクラゲがゆらゆら揺れる雰囲気を出したかったのだろう。普通は波や泡などをモチーフに観念的に表現するが、

青と白で大きく構成し、それを描き出した。画面を面白くさせようとする勇気のある表現で評価に値する。

準特選の柳田一子「巡（めぐる）」は、最後まで特選争いをした。色彩構成が高度で、不思議な魅力があり、かなり描ける人だと感じた。

出品作を通じて、従来の日本画のイメージにあったような花鳥風月をモチーフにした作品は少なく、現代の日本画として中央展でも通用するセンスのよい作品が多く、レベルの高さを感じた。

印象を表現するためには、説明的な絵にしないことが重要だ。不思議だが引き付けられ、見た人が想像力を膨らませることができるような表現に挑戦してほしい。

特選	「悠寂」	坂 容子
(徳島市長賞)		
特選	「游」	平野 真里
準特選	「巡」	柳田 一子
”	「映」	齋藤 久男
”	「晩秋」	三谷 浩三
奨励賞	「思い出の場所」	西條由希子
”	「金と銀」	吉村 敬子
”	「明日」	梶浦 千瑞

## 会員消息 (県展関係は除く。月別)

2月	第46回日本墨彩画院展	高松市立美術館	長谷壽・天羽弘毅
	第39回徳島市芸術祭美術展	あわぎんホール	土方貴美子
3月	Heart Art Communication展	兵庫県立美術館	長尾弘子
		芸術の館	
	「なす」「ひまわり」「清晨」「蓮」の4作品が		長尾弘子
	徳島県立近代美術館に収蔵される		
	第51回日本南画院展	東京国立新美術館	長谷壽・天羽弘毅
		京都市美術館	
		大阪市立美術館	
	第46回日春展	東京・松屋銀座	橋本正弘・岡英彦・土方るみ子
4月	徳島のコレクション2011 「なす」「ひまわり」「清晨」「蓮」展示	徳島県立近代美術館	長尾弘子
5月	第50回記念阿南市美術展	阿南市文化会館	長谷壽・天羽弘毅
	第2回徳島女流美術展	あわぎんホール	石原千鶴・坂容子・土方るみ子
			土方貴美子・宮越千佳
			柳田一子・土井洋子

6月	第43回珀雲社日本画展	阿波銀プラザ	長谷壽・藤井瑞雲・吉田満子
7月	第4回日本画ツアーバイツー展 日本画 きのう・京・あす展	阿波銀プラザ 京都府京都文化博物館 博物館	斉藤久代 土方るみ子
8月	岡英彦展	阿波和紙伝統産業会館	岡英彦
9月	第43回石井美術の会作品展	あわぎんホール	中川健
10月	第69回有秋会日本画展	大阪市立美術館	奨励賞：長谷壽・藤井瑞雲・ 吉田満子
	平成23年美波町由岐地区文化祭展 第43回日展	由岐ポッポマリン 東京国立新美術館	長谷壽 岡英彦 特選：橋本正弘
	第3回サンライフ「やさしい日本画」受講生作品展	ギャラリーカフェ世界一小さな美術館	中川健
11月	第40回記念阿南市文化祭美術展 天羽弘毅スケッチ展 平成23年阿南市福井町文化祭 第47回日本墨彩画院展	阿南市文化会館 神山町松葉庵 福井町総合センター 高松市立美術館	長谷壽・天羽弘毅 天羽弘毅 長谷壽 長谷壽 佳作：天羽弘毅・吉田満子
	第26回石井文化祭 読売・KRYチャリティー美術展	石井中央公民館	中川健 土方るみ子
12月	第40回歳末チャリティー作品 色紙即売展 カルチャーセンター徳島日本画 講座展	そごう徳島店 風知草	長尾弘子・岡英彦・ 土方貴美子・土方るみ子 土方貴美子

# 洋画部

部会長 梶田 務

## 年間展望

◎第19回放美展 会期・5月2日(月)～5月6日(金) 会場・あわぎんホール

洋画部門の応募者は150人、点数は183点で、前回に比して応募者は12人の増。作品は4点の増で、特に高校生の応募が32点と倍増。喜ぶたい。

入選は80点で入選率43パーセントという厳選になった。

審査には、露口敏幸、松川寛、中辻奈美枝の三氏が当たられたが、審査後の感想として、特に受賞作品では、放美賞の北村照子さん「栄町界限」は複雑な路地の雰囲気をつ捉えての画面構成の魅力。優秀賞の小笠原秋子さん「木材団地」、近藤克子さん「谷間」はともに身近な風景を題材にして、その描写力。松浦英子さん「たそがれハーバー」、若林咲希さん「静黙」はともに空間構成の巧みさ。米沢博さん「明神通り夜景」は題材がおもしろい。視点が斬新。垣内美月さん「船」は船体の捉え方が新鮮。服部和代さん「スイス・ルガノ」は色調に独特な味わい。梅岡トヨ賞の粟飯原史帆さん「樹魂」は、粘り強く対象に立ち向かっての若さにあふれた作品で、将来への期待、などが評価された。入選を逸した作品も遜色のない好作品で不運としか言いようがない。更に精進されて応募されるようお願いしたい。

◎第25回洋画部会員展 会期・6月30日(木)～7月3日(日) 会場・あわぎんホール

今回の出品総数は90点、各作品とも力作ぞろいで見ごたえのある展覧会になった。会員相互の研究・交流の場として更なる充実を図り、県民の方々から愛好される展覧会になるよう念願してやまない。会員の皆様のご協力を切にお願いしたい。

なお、会期中の7月2日には、会員相互の親睦を深める懇親会をホテルアグネスで開催した。当日、会員展の会計報告および監査報告があり、佐野比呂志先生から「絵について」のお話をいただいた。

また、会員展の現状とこれからの在り方などについて意見を交換し、終始なごやかなひとときを過ごした。

洋画部会員展運営委員

- (中央) 伊勢浩章、嵯峨潤三、佐野比呂志、玉田秀子、長尾弘久、南城ミツ子、梶田 務
- (北部) 河野公子、田中シゲミ、三好初子
- (南部) 佐藤敬子、中辻奈美枝、福良哲子
- (西部) 近藤克子、鈴木敬子、松川 寛
- (会計) 福良哲子
- (監事) 佐藤敬子

◎第 66 回県美術展 会期・10月8日(土)～10月16日(日) 会場・あわぎんホール

応募作品の総数は 321 点、出品者数は 235 人で 8 人の増だった。入選点数は 139 点、入選率 43.3 パーセントで相変わらずの厳選である。入賞作品数は、特選 3 点(内 1 点は、徳島新聞社長賞)、準特選 6 点、奨励賞 5 点の計 14 点である。

審査員には、日本芸術院会員、多摩美術大学教授の大津英敏先生をお迎えした。午前 9 時 30 分から午後 2 時過ぎまで審査に当たっていただいた。

審査後のお話では、出品された作品がさまざまな表現でバラエティーに富んでいて、気持ちよく審査ができた。全体的にレベルが高く、よい意味での徳島らしさが出ていて、66 回という歴史を感じた。

特に、徳島新聞社長賞の伊勢浩章「漁港」の色彩の素晴らしさと造形力。特選の近藤克子「菜の花の里」のデッサン力、描写の力量。同じく特選の玉田秀子「明日の風」の求心力、表現の技量、マチエールのもつ油絵の奥深さなどが高く評価された。

また、受賞作品と比して遜色のない作品も多く、層の厚さを感じたことや入選まであと一步という作品も、隅々の目立たない部分まで、手を緩めずにしっかりと描き込んでいけば、さらに全体が良くなるだろうとのアドバイスをいただいた。

大津英敏氏には、ほぼ十年ぶり二度目の審査で、ご本人の言葉どおり、オーソドックな手法で丁寧な審査に当たっていただいた。

今回も、作品の大きさを上限 60 号と定めたことで入選点数を 135 点前後とした。(実数 139 点) その結果、わずかながら入選者数が増加し、好感をもって迎えられているようである。

これからも関係者の意見をよく聞き、参考にしながら、第 67 回展に臨みたい。

会員消息 (県展・放美展は除く。)

- 青木 幸子 第 26 回国民文化祭美術展(京都市美術館)、洋画部会員展(あわぎんホール)
- 阿部 昌子 第 42 回土曜展(徳島市シビックセンター)、第 25 回洋画部会員展・第 67 回青美展(あわぎんホール) 第 34 回徳島市・名東郡中学校 PTA 連合会文化展(徳島県立 21 世紀館)
- 東 紀美子 第 25 回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート 21 第 9 回展(阿波銀プラザ)、第 10 回つくしの会・波の会合同絵画展、第 50 回阿南市美術展、第 40 回阿南市文化祭美術展(阿南市文化会館)
- 伊勢 浩章 徳島アート 21 第 9 回展、第 18 回月曜会展(阿波銀プラザ)、第 35 回 15 人展(ヨンデンプラザ徳島)、第 25 回洋画部会員展・第 29 回平和美術展・第 67 回青美展(あわぎんホール)
- 乾 繁春 第 71 回美術文化展：会員出品(愛知県美術館ギャラリー)、京都巡回展(京都市立美術館)、関西美術文化展(大阪市立美術館)、第 21 回美術文化徳島支部展、第 70 回世代美術展、第 4 回絵画美学展：賛助出品(阿波銀プラザ)、第 1 回スケッチを

楽しむ作品展：賛助出品（四電プラザ）、第2回徳島水彩美学展：賛助出品（NHK徳島放送局ロビーギャラリー）、第9回水彩美学高松展：賛助出品（高松市立美術館ギャラリー）

- 宇高 桂子 第65回女流画家協会展（上野の森美術館）、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、第2回徳島女流美術展（阿波銀プラザ）
- 大津 憲文 第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、第50回記念阿南市美術展、第40回阿南市文化祭美術展（夢ホール）、第10回合同絵画展（阿南市文化会館）
- 大西 文代 第29回青彩美術展（シビックセンター）
- 大西 道夫 第61回モダンアート展（京都市立美術館）、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、小松島市美術展（小松島市中央公民館）、第31回道草展（喫茶やまなみ）
- 大西利津子 第39回徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品、第25回洋画部会員展、第10回徳島新聞カルチャー展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、第26回徳島二紀展（県立近代美術館）
- 大野 文雄 第18回徳島市加茂文化祭（徳島市加茂コミュニティーセンター）
- 小笠原秋子 第39回徳島市芸術祭美術展・第25回洋画部会員展・第10回徳島新聞カルチャー展（あわぎんホール）、春風展（たばこ資料館）、三好市文化祭（ヨンデンプラザ池田）、三好郡市教職員春風展（たばこ資料館）
- 岡田 君代 第29回平和美術展・第67回青年美術展・第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、第35回15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 越久 高照 第67回青美展・第25回洋画部会員展・第29回徳島平和美術展（あわぎんホール）、第26回藍美展（藍住町福祉センター）
- 加賀谷愛美 第61回モダンアート展（京都市美術館）、第65回女流画家協会展（上野の森美術館）、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 加川由紀子 徳島アート21第9回展、中央公民館成人大学洋画講座作品展、第18回月曜会展（阿波銀プラザ）、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 片山 富市 第77回旺玄会展：会員出品（東京都美術館）、同大阪巡回展（大阪市立美術館）、第15回旺玄会東四国支部展（阿波銀プラザ）
- 片山美代子 第67回現展（国立新美術館）、現展名古屋展（愛知県美術館）、現展関西展（大阪市立美術館）、関西支部展（茶白山画廊）、洋画部会員展（あわぎんホール）、絵画美学展（阿波銀プラザ）、〈ヨンデンプラザ〉、吉野阿波市交流展（鴨島文化研修センター）、油彩カロリト展（鴨島中央公民館）
- 河田 安市 第87回白日会展、第43回日展（国立新美術館）、白日会地方展出品
- 河野 公子 第71回美術文化展（京都市立美術館）、第29回徳島平和美術展、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、第67回青美展（あわぎんホール）、美術文化徳島展（あわぎんプラザ）、第35回15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 河本多恵子 第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、国府文化祭（国府コミュニティーセンター）
- 岸本 花子 第39回徳島市芸術祭美術展、第25回洋画部会員展、カルチャー展（あわぎんホール）、第34回国八紅展（阿波銀プラザ）、第27回八万文化祭（八万コミュニティーセ

ンター)

- 木谷 弘 第71回美術文化展：会員出品（栃木県総合文化センター）、第71回関西美術文化展（大阪市立美術館）、第70回世代美術展、中央公民館油絵教室作品展：賛助出品（阿波銀プラザ）、悠美展（ヨンデンプラザ徳島）、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 黒崎 志郎 第64回示現会展：大内田賞、第43回日展（国立新美術館）、第99回日本水彩展：審査員（上野の森美術館）、示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第64回示現会展巡回徳島展・洋画部会員展（あわぎんホール）、黒崎志郎水彩スケッチ展（ギャラリー喫茶グレース）
- 答島 久子 第50回阿南市美術展・第10回つくしの会・波の会合同展・第40回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）、第4回羽ノ浦公民館フェスタ（羽ノ浦公民館）、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、三龍羊牛伝一之書（京町屋ぎやらりいほりかわ）
- 小浜 敏也 徳島アート21第9回展（阿波銀プラザ）、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、第10回つくしの会合同絵画展、第50回阿南市美術展、第40回阿南市文化祭（夢ホール）
- 後藤田仁一 第71回美術文化展：会員出品（京都市美術館）、第71回関西美術文化展：会員出品（大阪市立美術館）、第70回世代美術展（あわぎんホール）、悠美展（ヨンデンプラザ徳島）
- 後藤ユリ子 洋画部会員展（あわぎんホール）、自百合文化祭（仙台市）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 近藤 克子 第77回東光展（都美術館）、第32回東光会徳島支部展・第25回洋画部会員展、第43回ふるさとを描き遺す会展（あわぎんホール）、第4回絵画美学展（阿波銀プラザ）、第70回日本水彩連盟展（国立新美術館）
- 斉藤 靖子 第61回日本板画院展（東京シアター1010）、十二支展（徳島城博物館）、徳島版画展（阿波銀プラザ）
- 嵯峨 潤三 第30回すどり洋画展（西宮市立北口ギャラリー）、徳島アート21第9回展（阿波銀プラザ）、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、第4回逆光展（県立近代美術館ギャラリー）
- 佐藤 敬子 第67回青美展・第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、第4回絵画美学展（阿波銀プラザ）
- 佐藤 友美 第77回東光展（上野の森美術館）、東光会徳島支部展、青美展、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、第33回鴨島美術展、吉野川市文化展、吉野川市公民館祭展、2市交流展（吉野川市文化研修センター）
- 佐野比呂志 第39回徳島市芸術祭美術展：審査員出品、徳島新聞カルチャー展：指導者出品、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、第69回世代美術展（徳島シビックセンター）、徳島アート21第9回展：賛助出品（阿波銀プラザ）、第47回関西独立展：無鑑査出品（大阪市立美術館）



- 島上 二郎 第 77 回東光展（上野の森美術展）、東光会徳島支部展（あわぎんホール）
- 志摩 政照 第 33 回鴨島美術グループ展・第 7 回総合美術展（吉野川市文化研修センター）、  
第 25 回洋画部会員展（あわぎんホール）、吉野川市文化祭（川島町体育館）、阿波・吉野川二市交流展（市場ふれあいセンター）
- 清水 亟悞 第 45 回清水亟悞油絵小品展、第 46 回清水亟悞絵画展（徳島そごう 5 階美術画廊）
- 下時治郎秀臣 第 87 回白日会展、日展（国立新美術館）、白日会展巡回展（愛知、関西）、白日選  
抜展（阿倍野近鉄）、現代洋画秀作展（梅田画廊）、英英紅緑（日本橋三越）、洋画  
部会員展（あわぎんホール）、鴨島美術グループ展（吉野川市文研センター）
- 杉本 祥子 杉本祥子個展（キャッチギャラリー）、第 18 回日曜会展、徳島アート 21 第 9 回展、  
中央・渭北公民館成人講座洋画展（阿波銀プラザ）、第 25 回洋画部会員展（あわ  
ぎんホール）
- 鈴木 敬子 第 25 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 33 回鴨島美術グループ展（吉野川市  
文化研修センター）、アトリエM展（県立近代美術館）
- 住友 政雄 個展（阿波銀プラザ）、画展ふるさと展・ふるさとを絵で遺す会展（あわぎんホー  
ル）、吉野川市文化祭（川島町体育館）、吉野川市総合美術展・鴨島美術グループ展、  
四季彩会作品展（吉野川市文化研修センター）
- 住友 義彦 阿南市美術展（阿南市文化会館）
- 曾我部秀子 第 25 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 12 回日美絵画展（国立新美術館）、  
第 26 回八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 武田 洋子 三好市文化まつり（東祖谷民俗資料館）、第 6 回吉野川市・阿波市二市交流展（吉  
野川市文化研修センター）、春風展（阿波池田うだつの家）、県退職校長会第 6 回生  
きがい作品展（あわぎんホール）
- 竹原 良亮 第 39 回徳島市芸術祭美術展、徳島新聞カルチャー展（あわぎんホール）
- 田中シゲミ 第 39 回徳島市芸術祭美術展：招待出品・第 10 回徳島新聞カルチャー展・第 25 回  
洋画部会員展（あわぎんホール）、大麻町文化祭（鳴門市大麻町公民館）
- 田中 康子 第 34 回八紅展（阿波銀プラザ）、国府文化祭（国府コミュニティーセンター）、第  
25 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 玉田 秀子 第 39 回徳島市芸術祭美術展：招待出品、第 25 回洋画部会員展（あわぎんホール）、  
徳島アート 21 第 8 回展、第 34 回八紅展（阿波銀プラザ）、第 10 回合同絵画展  
（阿南市文化会館）
- 為実美恵子 第 24 回三好市文化まつり（ヨンデンプラザ池田）
- 露口 敏幸 生きがい展・カルチャー展・第 24 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 70 回世  
代美術展（阿波銀プラザ）
- 手塚てる子 手塚てる子展（ヨンデンプラザ徳島ギャラリー）、油彩・水彩小品展（ギャラリー  
カフェ・ブリッサ）、いずれも個展
- 長尾 弘久 徳島アート 21 第 9 回展・第 9 回徳島版画展（阿波銀プラザ）・第 25 回洋画部会員  
展（あわぎんホール）
- 長野 満子 第 42 回画展ふるさと・第 40 回絵で見る徳島展（あわぎんホール）、ふるさと徳島

- 展（あわおどり空港）、油彩画展（ギャラリー、グレイス）、（徳島県博物館ギャラリー）、障害者交流プラザ展（障害者交流プラザ）
- 中辻奈美枝 第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第9回展・（阿波銀プラザ）、第50回記念阿南市美術展・第40回阿南市文化祭美術展・第10回合同絵画展（阿南市文化会館）
  - 中村 恵一 第25回記念日洋展（国立新日本美術館）、同大阪会場（大阪市立美術館）、第25回洋画部会員展、第43回石井美術の会会員展（あわぎんホール）
  - 南城ミツ子 第77回東光展（都美術館）、東光会徳島支部展・徳島市芸術祭美術展：招待出品・洋画部会員展（あわぎんホール）、世代美術展（阿波銀プラザ）
  - 仁木 幸子 第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、第27回八万文化祭（八万コミュニティセンター）
  - 西川 敬子 第2回徳島女流美術展・洋画部会員展（あわぎんホール）・第9回徳島アート21第7回展（阿波銀プラザ）、夫妻展（グレイス）
  - 西川 周三 第9回徳島アート21（阿波銀プラザ、一）、洋画部会員展（あわぎんホール）、夫妻展（グレイス）
  - 西川 照美 はちにん展（櫻ギャラリー）、アトリエ・バクグループ展（阿波銀プラザ）
  - 西崎 志帆 洋画西崎志帆展（GALLERY オーダリー）
  - 二條 均 第25回洋画部会員展・平和美術展（あわぎんホール）、板野美術クラブ展（板野町文化の館）、油彩展（世界一小さな美術館）
  - 野口 暁子 第39回徳島市芸術祭美術展・第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、第34回八紅展（阿波銀プラザ）
  - 野上 恵子 第39回徳島市芸術祭美術展・第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、第34回八紅展（阿波銀プラザ）、第27回八万文化祭（八万コミュニティセンター）
  - 野村 雅子 第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第9回展（阿波銀プラザ）、つくしの会・波の会合同絵画展（阿南市文化会館）
  - 林 康太郎 第71回美術文化展（阿波銀プラザ）、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）
  - 林 静代 はちにん展（櫻ギャラリー）、洋画部会員展（あわぎんホール）、林静代個展（櫻ギャラリー）、第12回アトリエバク展（阿波銀プラザ）
  - 林 文子 第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、第50回阿南市美術協会展・第51回阿南市文化祭、第10回つくしの会・波の会合同展（阿南市文化会館）
  - 日野 邦恵 第77回東光展（上野の森美術館）、東光会徳島支部展・洋画部会員展（あわぎんホール）、第90回朱葉展（東京セントラル美術館）、第35回15人展（ヨンデンプラザ徳島）、洋画個展（世界一小さな美術館）
  - 平田スミコ 第65回女流画家協会展（上野の森美術館）、第25回洋画部会員展・第67回青美展（あわぎんホール）
  - 平本 美鶴 第65回二紀展会員賞（国立新美術館）、第79回日本版画協会展（京都市美術館）、個展（大阪高島屋美術画廊、新宿京王プラザホテルロビーギャラリー、ギャラリー喫茶グレイス、桜ギャラリー）、第8回高知国際版画トリエンナーレ展・第56回

CWAJ現代版画展（東京アメリカンクラブ）

- 福良 哲子 第39回徳島市芸術祭美術展：招待出品・第25回洋画部会員展・徳島新聞カルチャー展（あわぎんホール）、第34回八紅展（阿波銀プラザ）、加茂名文化祭（加茂名公民館）
- 藤井 香世 第18回月曜会展（阿波銀プラザ）
- 藤丸 家栄 第9回徳島アート21（阿波銀プラザ）
- 堀江 幸子 第25回洋画部会員展・第66回青美展（あわぎんホール）、吉野川市・阿波市二市交流展・鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）、第35回鴨島文化サロン展（本郷ギャラリー）
- 前川フキ子 第10回合同絵画展（阿南市文化会館）、洋画部会員展（あわぎんホール）、羽ノ浦町文化祭（羽ノ浦公民館）
- 前川 富子 第71回美術文化展（愛知県美術館）、第71回関西美術文化展（大阪市美術館）、第21回美術文化徳島支部展、第4回徳島油彩美学展（阿波銀プラザ）、第4回徳島絵画美学展（ヨンデンプラザ）、第2回水彩個展（徳島メガネ石井店）、第43回画展「ふるさと」・第40回記念絵で見る徳島展、第43回石井美術の会作品展（あわぎんホール）、第70回記念水彩連盟展（国立新美術館）
- 梶田 務 第33回東光会徳島支部展、第25回洋画部会員展、第39回徳島市芸術祭美術展：審査員出品、生きがい展（あわぎんホール）、色紙・短冊展（ヨンデンプラザ徳島）
- 松川 寛 第61回モダンアート京都展（京都市立美術館）、うるわしの神山展（東石材店ギャラリー）、関西モダンアート展（兵庫県立美術館）、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、SCRAMBLUE 青い交差（東京NAMIKIGALLERY）、東北大震災復興祈願展（岩手県立美術館）
- 真鍋 弘子 第9回徳島アート21（阿波銀プラザ）、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 馬淵 博子 第12回アトリエバクグループ展（阿波銀プラザ）、第25回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 三沢 尚子 関西水彩画会展（大阪市立美術館）、徳島女流美術展（あわぎんホール）、燎四人展、尚アート水彩画展（阿波銀プラザ）、それいゆ水彩画展（NHKロビー）
- 三谷多美子 第25回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 三谷ミヤ子 第39回徳島市芸術祭美術展・第25回洋画部会員展（あわぎんホール）、東光会第5回小品展（上野の森美術館）、第34回八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミセン）、東富田油彩展：賛助（ふれあい健康館・森コーヒーギャラリー・アンデルセンギャラリー）
- 宮田 京子 第71回美術文化展（東京都美術館）
- 峯 幸子 第8回私の愛した小さなスケッチ展（喫茶グレイス）、徳島女流美術展・洋画部会員展（あわぎんホール）、む・アート展（阿波銀プラザ）、新制作展（国立新美術館、京都市立美術館）
- 三好 初子 第77回東光展：会員出品（上野の森美術館）、徳島女流美術展・東光会徳島支部展・洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展（あわぎんホール）、藍美展（藍住町福祉セン

ター)

- 山口美千代 第 67 回青美展・第 25 回洋画部会員展（あわぎんホール）、三好市文化まつり展（ヨンデンプラザ池田）
- 山田 智千 第 41 回土曜展（徳島市シビックセンター）、第 43 回石井美術の会作品展（あわぎんホール）
- 吉田 実 吉田実油絵個展（時代屋）、四季彩会展、鴨島美術グループ展（鴨島文化研修センター）、阿波絵画教室展（阿波図書館）
- 米沢 博 第 39 回徳島市芸術祭美術展（あわぎんホール）、第 24 回全国健康福祉祭美術展（熊本県立美術館）
- 和田 寿子 第 39 回徳島市芸術祭美術展・第 25 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 34 回八紅展（阿波銀プラザ）、第 26 回八万文化祭（八万コミュニティーセンター）

# 写 真 部

部 会 長 上野 照文

## 年間展望

○第 66 回県美術展 10月8日(土)～16日(日) あわぎんホール

審査員には5年ぶりに江成常夫先生をお願いいたしました。先生は一貫して昭和の時代の戦争における人間の心の問題という重いテーマを撮り続けてこられ、夏に集大成とも云える写真展「昭和史のかたち」を開かれました。審査評を抜粋して掲載いたします。

「全体的に熱のこもった作品が多かった。日常の風景や人の営み、森の風景といった森羅万象にかかわるモチーフが作品化されていた。クリエイティブな作品も高度なレベルで仕上げられていた。自分が社会をどう感じているか被写体に求めることが重要だ。本当の幸せとは何か、常に念頭に置いて被写体と向き合うことが大事だ。」

応募点数は760点。昨年より100点程減少しました。この中から特選4点。準特選9点。奨励賞8点。入選141点が選出されました。

- |     |   |
|-----|---|
| 特 選 | 「落日」平野 史子(特別賞)  |
|     | 「視線」岩本 宏子   |
|     | 「ファンタジア」櫛淵 紳哉   |
|     | 「Never Forget A-Bonb」川真田慶治                              |
| 準特選 | 堀口 幸男・松田みゆき・阿部 啓三・多川 静守・福井 邦博・<br>森住 博・田中 伸廣・姫野 博司・宮前 稔 |

○第 19 回放美展 5月2日(月)～5月6日(金) あわぎんホール

応募点数は449点。昨年より26点減であった。この中から放美賞1点、優秀賞18点、入選150点を選出した。審査員は荒井賢治、上野照文、井藤光章が担当した。

- |     |  |
|-----|--|
| 褒美賞 | 「雪の森遠」松家 安信  |
| 優秀賞 | 山田 卓・阿部 隆雄・岩本 宏子・山上 堯<br>三谷 美晴・織野 明弘・大津 勝治・福井 純子<br>福井 邦博・谷 ひづる・大西 忠・高橋 一恵<br>廣野美智子・郡 英明・福居 幹夫・橋本 勝<br>島 祥子・久保 翠 |
| 特別賞 | 八木 真理菜(梅岡トヨ賞)  |

◎**県美協写真部撮影会** 6月26日(日) 奈良市

今年は「奈良公園一帯」を目的地に行った。会員数が増加したことでバス2台60名の参加で開催した。阿南6時出発、徳島、鳴門経由で10時頃に現地到着。各々奈良公園や奈良町周辺にと精力的に撮影されていた。下記の各委員にお世話願った。

井上 憲治・井藤 光章・林 敏彦

**会員の訃報**

H23.11.22 荒井 賢治(63) 美協写真部部会長

突然の訃報で部会長の荒井賢治氏が11月22日旅立たれました。新浜写真クラブを指導、二科会理事そして徳島新聞カルチャー講師を勤め数多くの後進を育成され、更に新人を発掘して将来につなげようと精力的に活動されていました。心からご冥福をお祈りいたします。

**会員消息**

○**三好和義写真展ふたつの楽園** 12月3日(土)～18日(日) あわぎんホール

一部「帝の楽園 京都の御所と離宮」

二部「楽園の島 世界遺産 小笠原」

○**第36回2011JPS展** 5月21日(土)～6月5日(日) 東京都写真美術館

入 選：井藤 光章・増田 寿

○**第96回二科展写真部門** 9月1日(木)～12日(月) 東京国立新美術館

会員出品：荒井 賢治・大和 健司・森住 博

会友推挙：平野 史子・西野 倫子

入 賞：西野 倫子(フォトコン賞)

入 選：秋山 修一・梅本 貞範・榎本 真悟・織野 明弘・久保 翠  
郡 英明・四宮 正恵・志摩 育美・田中 義孝・竹内 好文  
富岡佳代子・新居 奏・原田 章一・姫野 博司・早淵 茂  
平澤 昭世・平澤 澄子・松原 玲子・宮前 稔・大和 章人

○**第58回阿波踊り写真コンクール** 9月23日(金)～10月3日(月) 徳島市阿波踊り会館

推 薦：野口 道子

特 選：高曾根信義・林 好一

準 特 選：秋山 修一・佐藤 進

入 選：阿部 啓三・織野 明弘・島 祥子・高見喜美男・竹内 好文  
富岡佳代子・新居 修・橋本 勝・平澤 澄子・福井 邦博  
福井 純子・宮前 稔・宮崎 敏晴・森 光・大和 章人  
山本 雅敏

- 第 18 回朝日四国写真展 2012 年 2 月 10 日（金）～ 12 日（日）あわぎんホール  
 徳島県知事賞：井上 憲治  
 関西本部長賞：林 好一  
 徳島県本部長賞：橋本 勝  
 特 選：姫野 博司  
 入 選：大津 勝治・林 敏彦・三木 理司・福井 邦博・福井 純子  
 増谷 好子・吉村 敏嗣
- 第 45 回日本光画会「光」展 1 月 6 日（木）～ 10 日（日）徳島市シビックセンター  
 会 員 出 品：佐藤 義雄  
 出 品 者：米塚 稔
- 第 42 回ナルトピンぼけクラブ写真展 2 月 10 日（木）～ 13 日（日）キョーエイ鳴門駅前店  
 会 長：賀川 泰弘  
 出 品 者：木田 英之・賀川 泰弘・小川 勝・元木 強・武知 雅
- 第 26 回全日本写真連盟県本部写真展 2 月 4 日（金）～ 6 日（日）徳島市シビックセンター  
 県本部委員長：阿部 啓三  
 出 品 者：阿部 啓三・井藤 光章・井上 憲治・大津 勝治・川真田慶治  
 久我 千鶴・櫛渕 魏・西條 征二・佐治 孝・佐藤 進  
 佐藤 義雄・滝島 豊美・辻 絹子・野藤 敏美・野藤みきよ  
 橋本 圭祐・橋本 勝・林 敏彦・林 好一・姫田 慎治  
 姫野 博司・福井 邦博・福井 純子・藤川 光昭・古井 謙吉  
 宮本 幸治・森 賢一・吉村 敏嗣
- 徳島大学解放実践センター修了展 3 月 4 日（金）～ 6 日（日）徳島市阿波銀プラザ  
 講 師：上野 照文  
 出 品 者：井上 憲治・上野 照文・島 廣幸・大津 勝治・岸田 義市  
 滝島 豊美
- 木田英之と合同クラブ展 3 月 4 日（金）～ 7 日（月）徳島市シビックセンター  
 出 品 者：赤尾 壽一・小川 勝・賀川 泰弘・岸田 義市・木田 英之  
 武知 雅・林 好一・福井 純子・元木 強
- 井上 翔「さくら展」 4 月 3 日（日）～ 30 日（土）脇町時代屋ギャラリー

○第51回写楽会写真展 4月8日(金)～10日(日)徳島市シビックセンター

会 長：櫛淵 魏

出 品：上野 照文・川真田慶治・櫛淵 紳哉・櫛淵 魏・関口つとむ  
中川 定典・古井 謙吉・森 光

○大貝久義個展「俳写歳時記季節のきらめき」 4月13日(水)～30日(土)徳島市シビックセンター

○徳島風景写真協会自然の四季風景写真展 4月13日(水)～18日(月)徳島市シビックセンター

会 長：大貝 久義

出 品 者：大貝 久義・新居 奏

○第12回ニコールクラブ徳島支部写真展 4月22日(金)～24日(日)徳島市シビックセンター

支 部 長：櫛淵 魏

出 品 者：阿部 啓三・井藤 光章・大野 武・川真田慶治・櫛淵 魏  
佐治 孝・佐藤 義雄・中川 定典・藤川 光昭・古井 謙吉  
堀口 幸男・増田 寿・三木 晴夫・三木 理司・森 賢一

○第28回サンカ会写真作品展 4月23日(土)～25日(月)徳島市シビックセンター

会 長：森内 昭男

出 品 者：田中 伸廣・森内 昭男

○第11回UNIT-D写真展 5月20日(金)～22日(日)徳島市阿波銀プラザ

代 表：上野 照文

出 品 者：井上 憲治・上野 照文・多川 静守・野口 佳一・橋本 圭祐  
林 敏彦・堀口 幸男・増田 寿

○第34回写真同人炎作品展 6月4日(金)から12日(日)徳島市あわぎんホール

代 表：井藤 光章

出 品 者：阿部 啓三・荒井 賢治・井藤 光章・井上 憲治・川真田慶治  
櫛淵 魏・佐藤 義雄・西條 征二・佐治 孝・田村 泰弘  
伊達 照子・土橋 成行・野口 佳一・中川 定典・林 敏彦  
古井 謙吉・堀口 幸男・森 賢一・大和 健司

○第14回英藍アルテ写真クラブ展 6月17日(金)～19日(日)徳島市阿波銀プラザ

出 品 者：藤川 光昭・上野 照文

○第25回徳島花を写す会写真展 8月19日(日)～21日(日)ヨンデンプラザ徳島

代 表：佐藤 義雄



出 品 者：久保 英樹・佐藤 義雄・吉村 敏嗣

○徳島新聞カルチャー生写真展 7月23日(土)～8月20日(土) 徳島市山茶舎

講 師：荒井 賢治

出 品 者：辻 絹子・平澤 澄子・増谷 好子・久保 翠・新居 奏  
平野 史子・森内 昭男・山本 雅敏

○第2回 Gruppo Foto 23 写真展 8月26日(金)～28日(日) 徳島市阿波銀ホール

アドバイザー：上野 照文

出 品 者：大西 啓子・滝島 豊美・田中 伸廣

○第6回写真同人光写真展 9月19日(月)～23日(金) 阿南市エネルギープラザ

会 長：田村 泰弘

出 品 者：木田 英之・伊達 照子・田村 泰弘・林 敏彦・林 好一  
福井 邦博・福井 純子

○第11回写友吉野川写真展 10月4日(火)～9日(日) 徳島市NHK徳島放送局

会 長：板東よしお

出 品 者：岩崎 英昭・板東よしお・矢部 弘子

○木田塾第2回写真展「阿南の自然」 11月28日(月)～12月2日(金) 阿南市エネルギープラザ

出 品 者：木田 英之・林 好一・福井 純子

○第10回キャノンフォトクラブ写真展 12月1日(木)～6日(火) 徳島市阿波銀プラザ

出 品 者：秋山 修一・辻 絹子・野口 道子・橋本 勝・林 好一  
増谷 好子・宮前 稔・矢部 弘子

# 彫 刻 部

部 会 長 松 永 勉

## 年間展望

◎第 66 回県美術展（平成 23 年 10 月 8 日（土）～ 16 日（日） あわぎんホール）

今回は審査員として、彫刻家で東京芸術大学教授の深井隆先生にお願いした。今年の彫刻部門への出品総数は 25 点であった。そのうち入賞・入選した作品が 15 点。総数では昨年の出品数より 5 点少ない。しかし、内容としては、習作的作品よりも独自の表現を試した完成度の高い作品が目立ったようである。彫刻の分野は現在表現領域が幅広く、さまざまな素材の利用、立体表現の可能性を求めての試行などいろいろなことが考えられており、多様な出品がなされている。それゆえ従来からの彫刻の概念だけでなく、個性的な傾向の強い作品が揃った。彫刻の制作には困難なことも多いのだが、意欲的な作品が毎年出てくることに感激する。

さて、今回の審査では、深井先生にきめ細かく、時間をかけて見ていただいた。特に作品だけでなく、置き方や台座と作品の関係などにも注目した見方が特徴的であった。そして、例年行われている審査後の講評では、質問を求める出品者に対して、細かく説明されていた。出品者は先生から彫刻を制作するための姿勢や技法について、熱心に聞こうとする者が何人もいて、時間が足りないくらいであった。その点は公開審査の大きな成果であろう。

今回の審査評として、「見るからに作り始めたばかりの人もいれば、ベテランもおり、オーソドックスな人体の具象、抽象などいろいろな表現が集まった。実力の拮抗した作品が多く、ベーシックな彫刻としての表現ができているか、という差が当落の境になった。」と話された。

「特選」（徳島県美術家協会会長賞）に選ばれた木村大志さんの作品“木霊を纏（まとう）”には、「出品作全体の中で飛び抜けていた。うろのある木材などを組み合わせ彩色した木彫で、見る者にさまざまな物語を感じさせる魅力的な作品。色の使い方やバランス、素材の合わせ方も研究していることがうかがえるさりげない表現の中に、作者の感覚と知恵、センスが込められていると感じた。今後さらに伸びるだろう。」との評価をいただいた。木村さんは昨年の県展でも特選に選ばれており、連続しての受賞となった。毎年、木の風合いを生かした力作を出品しており、今後を期待する。

「準特選」になった武田亜希子さんの作品“未来探知器”については、「鉄を用いたオーソドックスな抽象彫刻で、構成素材の扱いが確かである。」との評価であった。武田さんも毎年続けて受賞している作家だ。鉄材を使った空間構成は、次第と独自の世界を開拓しつつある感がする。さらに新しい形を求め精進してほしい。

同じく「準特選」に選ばれた増田有美さんの“夜明け”には、「20 代によるのびのびした表現の作。自分の形をもっており、優れた人体彫刻といえる。」と述べられた。増田さんの出品作は、等身像の人体をよく観察して作られており、動的フォルムが上手にバランスよくまとめられていた。等身大の大作を丁寧に作った力作だと言える。

全体の評としては、「出品作の中に壊れそうだったり、倒れそうだったり、展示に注意が必要

なものがあった。安定した設置ができるところまで、彫刻家として責任を持つ必要がある。それに合致せず、入賞を逃した人もいる。」と話された。せっかく作った作品であるが、立体物の彫刻を置いたときどうなるのか。そこには安全性も含めて考えなければならないことを指摘されているものと思われる。

一方、学生の出品作に関しては、「基本的な作り方に課題のある作品もあったが、若いエネルギーを感じられ、うれしかった。」と言われた。

その他の入賞作品は、「奨励賞」として大貝寿子さんの“明日に向かってH23”と、齊藤綾子さんの“暁”が選ばれた。大貝さんはテラコッタの作品を出され、造形的な面白さが買われた。単純な形を並べ、リズム感のある空間を構成した。陶芸もされているが、陶彫の分野で新しい感覚を見せてほしい。また、齊藤さんの人体彫刻は、着衣の人体を均整のとれた美しい形に仕上げたもので、テクニックの良さを感じさせる仕事ぶりが評価されたと思われる。次回の作品を楽しみにしたい。

### ◎第19回放美展（平成23年5月2日（月）～6日（金） あわぎんホール）

今回の彫刻部門の出品総数は22点（19人）であった。出品作品の素材は、木、石、FRP（繊維強化プラスチック）、テラコッタ（素焼）など多種多様で、それぞれ個性的な仕事がされていた。

「放美賞」に選ばれた三間富久美さんの“凜”は、若人の心情と生命感をうまく表現した心ひかれる秀作である。

「優秀賞」を受けた大貝寿子さんの“遊魚達”は、しっかりした造形的な構築、創造性の面で入賞にふさわしい作品。

今回特別に設けられた「梅岡トヨ賞」には、鎌田真奈美さんの“メーデー”が選ばれた。木彫の労作で、今後の活躍が楽しみである。

全体を通して、ここ数年オブジェ的作品が増えている傾向にある。その中に質的内容が深まり、レベルが高くなってきている作品がある。今後もこのような作品が出品されることを期待したい。（今回の審査員は、鎌田邦宏、上月佳代、長岡強）

### 会員消息（県展・放美展関係は除く。順不同）

居上 真人	1月	阪神淡路大震災鎮魂碑「阿波のタヌキの底力」設置	神戸市長田区
	8月	松茂町制50周年記念モニュメント「遊々」設置	松茂町
	9月	第86回二科展 会友出品	国立新美術館
	10月	第49回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
	11月	四国霊場88カ所1番札所霊山寺に「生きよ～同行二人」を設置	鳴門市
井下 俊作	9月	第66回行動美術展 会員出品	国立新美術館
	9月	第66回行動美術展大阪巡回展 会員出品	大阪市立美術館
	10月～11月	第49回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園

河崎 良行	11月	四国大学開学 50 周年記念モニュメント設置	四国大学	
	2月	人物デッサン展出品	そごう徳島店美術画廊	
	4月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザギャラリー	
	4月～6月	「水環境と彫刻」展出品	あすたむランド徳島	
	9月	第 26 回徳島二紀展	県立近代美術館ギャラリー	
	10月	第 65 回記念二紀展	国立新美術館	
	12月	現代日本彫刻作家展	箱根・彫刻の森美術館	
	鎌田 邦宏	2月	人物デザイン展出品	そごう徳島店美術画廊
		3月	二紀会第 5 回会員展	ギャラリー青羅(銀座)
		4月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザギャラリー
4月～6月		「水環境と彫刻」展出品	あすたむランド徳島	
7月		現代彫刻小品展	島根県石見银山 カフェのぼせモン	
9月		第 26 回徳島二紀展	県立近代美術館ギャラリー	
10月		第 65 回二紀展	国立新美術館	
上月 佳代		2月	徳島市芸術祭美術展	あわぎんホール
		2月	人物デッサン展出品	そごう徳島店美術画廊
		3月	二紀会員展	ギャラリー青羅(銀座)
	4月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザギャラリー	
	4月～6月	「水環境と彫刻」展出品	あすたむランド徳島	
	9月	第 26 回徳島二紀展	県立近代美術館ギャラリー	
	10月	第 65 回二紀展	国立新美術館	
佐藤 隆	10月～11月	第 49 回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園	
武田亜希子	4月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザギャラリー	
	4月	「水環境と彫刻」	あすたむランド徳島	
	9月	第 26 回徳島二紀展	県立近代美術館ギャラリー	
	10月	第 65 回二紀展	国立新美術館	
長岡 強	3月	第 87 回白日会展 会員出品	国立新美術館	
	6月	第 41 回日彫展 会員出品	国立新美術館	
	10月	鳴門教育大学創立 30 周年記念モニュメント設置	鳴門教育大キャンパス	
	11月	第 43 回日展 審査員として出品	国立新美術館	
濱口 恵	5月	第 61 回モダンアート京都展に木版画出品	京都市美術館	
	9月	第 30 回関西モダンアート展に木版画出品	兵庫県立近代美術館	
	10月～11月	第 49 回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園	

林 一美	4月	NHK 徳島放送局ロビー展	NHK 徳島放送局
	6月	彫刻展	徳島障害福祉センター
	10月	彫刻展	徳島市役所ロビー
東 光司	4月	第4回神山麗し作品展	神山町
	4月～6月	「水環境と彫刻」展出品	あすたむランド徳島
	5月	第61回モダンアート展京都展	京都市美術館
松永 勉	1月	徳島市芸術祭美術展 特別出品	あわぎんホール
	5月	アメリカ・サギノー市美術館で個展	アメリカ・サギノー市
	5月	東日本大震災復興支援チャリティー・トゥモローアート展	オリエ・アートギャラリー東京
	8月	兵庫県彫刻家連盟創立40周年記念展 賛助出品	原田の森ギャラリー (神戸市)
	8月	第4回燈花と芸術の森展 招待出品	奈良県文化会館
	8月	ピアース笹塚マンションにモニュメント「空より」設置	東京都渋谷区
	9月	第66回行動展 会員出品	国立新美術館
	9月	第66回行動展大阪巡回展 会員出品	大阪市美術館
	10月～11月	第49回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
	10月～11月	第24回UBE ビエンナーレ模型展	山口県宇部市
	11月	2011 あさご芸術の森大賞展	兵庫県朝来市多々良木

# 美術工芸部

部会長 七條 猪三郎

## 年間展望

◎第66回県美術展（平成23年10月8日（土）～10月16日（日）あわぎんホール）

平成23年（2011年）、第66回県美術展、美術工芸部門の応募点数は203点出品者は133人で、昨年の出品数より9点多かった。

分野別にみると、陶芸が昨年より14点多い101点で最多、次に押し花、パッチワーク、染織、ガラス、七宝金工、木竹、人形など多くの分野の作品が出品された。

審査は厳正を極め、午後1時から5時まで丁寧に審査に当たっていただいた。最初に入選120点を選び、その中から賞候補を約20点選び、そこから最終的に特選2点（1点は県知事賞）、準特選4点、奨励賞3点を決定した。

入選作品120点（入選率59.1%）に無審査作品9点を加えて129点が展示され盛況となった。

今回の審査員は日本芸術院会員、日展顧問、文化功労者の大樋年朗先生をお願いした。

審査の総評は、アマチュアからプロまで、意欲的な作品がそろっていた。

出品作品のジャンルやレベルの幅は広いが作る喜びを感じる作品も多かった。全体的にレベルが高く、今後が期待できる。継続して出品し、成長を続けてほしい。

入賞にはいたらなかったが、賞に選びたい作品がいくつかあった。素材の良さや、技法により自分の感覚を生かし、造形美とオリジナリティーにあふれた完成度の高いものを目指してほしい。

素材と技法の良さを生かす工芸、作る喜びが感じられる作品、見る人が元気になるような作品、訴えるものがある作品、独自性のある作品、既成概念にとらわれず、堂々と自分の感覚を生かした作品を作ってほしい。

大樋年朗先生には、今回の厳しい審査の裏には、心温まるご激励や貴重なご指導を下さいましたことに、改めて深甚の謝意を表し、今後の発展の糧としたい。

特選 (県知事賞)	田村 純子	「宙」(陶芸)
〃	越 由子	「天空」(パッチワーク)
準特選	大貝 貞雄	「トルソ66」(陶芸)
〃	丸居 哲雄	「私は小さい」(木)
〃	穴山千代子	「春を待つ(復興)」(織)
〃	斉藤 和彦	「タンザニアの風」(金工)
奨励賞	大貝 寿子	「渦の舞」(陶芸)
〃	四十宮年代	「強く生きる」(染)
〃	藤井 哲信	「祭器」(ガラス)

◎第 19 回放美展（平成 23 年 5 月 2 日（月）～5 月 6 日（金）あわぎんホール）

平成 23 年（2011 年）第 19 回放美展美術工芸部門は、出品点数 157 点（出品人数 112 人）で昨年を少し下回った。陶器が半数近くを占め、押し花が増えている。

状況は昨年と同じ傾向であるが、本年は平面作品がカラフルになり、全てのジャンルで主題のとりえ方や構成面での新しい取り組みが目立ったようである。

審査は厳正を極め、入選率 75%を目途に 112 点が入選、その中から各ジャンルより 20 点の賞候補を選び、その中から放美賞 1 点、優秀賞 6 点、高校生の秀作として、梅岡トヨ賞 1 点が選出された。

放美賞、松本宏さんの陶芸「波の緒Ⅱ」は、波がうねりながら伸び上がる感じが洗練された形態、白と黒の線文を使い見事に表現している。まさに形態と紋様の調和で群を抜く秀作である。

優秀賞は陶芸 2 点、ガラス 1 点、彫金七宝 1 点、パッチワーク 1 点、着物 1 点は各ジャンルを代表する秀作である。

梅岡トヨ賞は押し花の作品で将来性に期待したい。

（審査員 七條猪三郎・橘恵・松下慶一）

放美賞	松本 宏	「波の緒Ⅱ」（陶芸）
優秀賞	南 泰樹	「想いⅢ」（陶芸）
〃	和佐 勝代	「線」（陶芸）
〃	矢野 藍游	「威風堂々」（染色着物）
〃	森 克江	「翠黛」（ガラス）
〃	西 美稚子	「光織りなす」（パッチワーク）
〃	今川 博臣	「蕃殖る」（彫金七宝）
梅岡トヨ賞	松浦 里香	「WISH（希望）」（押し花）

会員消息（県展・放美展は除く）

天野 和子	・第 50 回記念日本現代工芸美術展	3 月	金沢 21 世紀美術館
	・第 9 回徳島版画展（HanHan賞）	11 月	あわぎんプラザ
	・第 49 回現代工芸四国会展	11 月	高松三越
大貝 貞雄	・第 39 回徳島市美術展（無鑑査）	1 月	あわぎんホール
	・2011 陶芸文化振興財団展（陶芸美術館賞）	6 月	国立新美術館
	・第 39 回県手工芸展（文部科学大臣賞）	11 月	あわぎんホール
大貝 寿子	・第 20 回高超陶芸クラブ展	12 月	貞光ゆうゆう館
	・第 39 回徳島市美術展（無鑑査）	1 月	あわぎんホール
	・2011 陶芸文化振興財団展（審査委員賞）	6 月	国立新美術館
	・第 39 回県手工芸展（賛助出品）	11 月	あわぎんホール
	・第 20 回高超陶芸クラブ展	12 月	貞光ゆうゆう館

超 由子	・第 50 回日本現代工芸美術展（記念賞）	3月	金沢 21 世紀美術館
	・第 43 回日展	10月	国立新美術館
	・第 49 回現代工芸美術四国会展	11月	高松三越
西 浩子	・徳島女流美術展	5月	あわぎんホール
多智花佐代子	・第 50 回日本現代工芸美術展	3月	金沢 21 世紀美術館
	・第 43 回日展	10月	国立新美術館
	・第 49 回現代工芸美術四国会展	11月	高松三越
高瀬 裕司	・第 39 回県手工芸展（奨励賞）	11月	あわぎんホール
森 賢一	・第 50 回日本現代工芸美術展	3月	金沢 21 世紀美術館
	・第 43 回日展	10月	国立新美術館
	・第 49 回現代工芸美術四国会展	11月	高松三越
横井嘉世恵	・第 39 回徳島市美術展（招待）	1月	あわぎんホール
	・宮本薫グループ展	10月	あわぎんプラザ
四十宮年代	・第 39 回徳島市美術展（特別出品）	1月	あわぎんホール
	・第 26 回国民文化祭（奨励賞）	10月	京都府南丹市
	・第 17 回徳島県健康福祉美術展	11月	あわぎんホール
	・第 40 回歳末チャリティー展	12月	そごう徳島店
龍木 秀子	・第 50 回日本現代工芸美術展	3月	金沢 21 世紀美術館
田村 純子	・日本新工芸展	5月	国立新美術館
	・日本新工芸四国会展	7月	高松三越
	・第 43 回日展	10月	国立新美術館
矢野 款一	・日本工芸正会員展	5月	東京日本橋三越
	・日本工芸会四国支部展（審査員）	10月	高松三越
斉藤 和彦	・日本七宝作家協会国際展（協会賞）	2月	上野の森美術館
	・日本七宝作家協会展	8月	北とぴあホール
川真田 弘	・川真田弘藍型絵染展	10月	函館ギャラリー村岡
	・ //	12月	あわぎん鴨島
	・藍染講習会	7・8・9月	北海道緑の村内
藤井 哲信	・第 50 回日本クラフト展	3月	丸ビルホール
	・藤井哲信ガラス展	6月	大丸心齋橋店
	・藍色のある暮らし	9月	文化の森 21 世紀館
南 郁代	・吉野川市総合美術展	7月	文化研修センター
	・吉野川市文化祭	10月	吉野川市体育館
	・高超陶芸クラブ展	12月	貞光ゆうゆう館
南 泰樹	・吉野川市総合美術展	7月	文化研修センター
	・吉野川市文化祭	10月	吉野川市体育館
	・高超陶芸クラブ展	12月	貞光ゆうゆう館
阿部 巍	・第 39 回県手工芸展（努力賞）	11月	あわぎんホール



曾江 司	・個展（陶吉郎、Yosie 二人展）	12月	脇町平和園
橘 恵	・藍染夫婦展	4月	世界一小さな美術館
	・第42回北島町文化祭	10月	北島町総合庁舎
松下 敏之	・松下雄介・敏之作品展	4月	ギャラリー M&M
	・陶藍展 2011	5月	藍住町歴史館藍の館
	・第54回伝統工芸四国展	10月	高松三越
丸居 哲雄	・丸居展（徳島文化奨励賞受賞記念）	3月	あわぎんホール
	・ゆるい展	5月	木岐ギャラリー
	・エナジー 2011	10月	文化の森21世紀館
	・上板町文化祭	12月	技の館
矢野 藍游	・平成23年度全国現代クラフト展	9月	あわぎんホール
	・第54回伝統工芸四国展	10月	高松三越
小栗加代子	・第50回日本現代工芸美術展	3月	金沢21世紀美術館
	・国際キルト芸術カーニバル	3月	北京精華大学
	・第50回日本現代工芸美術高知巡回展	8月	高知市文化プラザ
	・第43回日展	10月	国立新美術館
	・日露キルト展	7月	モスクワ文化センター

# 書道部

部会長 荒井 彭仙

## 年間展望

◎第 66 回県美術展（第 2 期 10 月 18 日（火）～ 25 日（火）あわぎんホール）

今回の応募数は 856 点、出品者数 542 名であった。前回より 35 点、24 名の増加となった。ここ 2 年に亘り、減少気味であり、更に東日本大震災で日本中が何事も躊躇する時期であった為、この増加には前向きな姿勢をも窺えて、1 点の重みを例年以上に強く感じる事となった。

今回の審査員は土井汲泉・舟尾圭碩・百瀬大蕪の三先生で、審査の結果、入賞を含む入選数は 369 点（入選率 43%）であった。各先生方は素直な用筆で、時代の流れに添った水準の高い作品群と称され、共通してスピード感のある審査をされた。第一印象にスポットをあてられたようで、多面的なもの、詩情豊かなもの、構築性の優れたもの、とバラエティに富んだ選出となったが、入落ラインについては悩まれた。全作品が入選ラインを超えているので、と敢えて“上手い”という枠の中でも中堅どころに自己改革を求める決断をされたようである。

展示総数は、特別出品・招待・無鑑査・賛助出品・遺作の 45 点を加えて 414 点が全期間展示された。

◎第 19 回放美展（5 月 2 日（月）～ 6 日（金）あわぎんホール）

応募数 192 点、出品者数 166 名（前回 205 点、184 名）であり前回より 13 点、18 名の減となった。

震災直後の影響も考えられるが、高校生の応募は例年通り 3 分の 1 を占めていた。

今回は放美賞 1 点、優秀賞 8 点、梅岡トヨ賞 1 点、入選 102 点と役員を含めて 120 点の展示となった。（梅岡トヨ賞は第 19 回、20 回放美展に新設された高校生対象の賞）

（審査員：武市鳴雲・長原阜聖・河野真流）

## 会員の計報

H23. 5. 19 張 美鶴先生 (79) 美協書道部委員

H23. 12. 5 勝瀬景流先生 (70) 美協書道部理事

全国を舞台に、幅広く活躍され、数え切れないほどの役職を遂行される中、常に都会的センスを県書壇に提供され、門人の育成と地域の書道発展に大きく貢献されました。

御冥福をお祈りいたします。

◎社中展・個展等

○第 25 回記念正鋒会書展

あわぎんホール

1 月 21 日～

23 日

○第 35 回記念東玄書道会展	阿波銀プラザ	1月28日～	30日
○第 3 回春琴とその仲間たち展	貞光ゆうゆう館	2月 1 日～	7日
○22 年度四国大学卒業制作展	四国大学交流プラザ	2月 7 日～	13日
○第 31 回書研社展	徳島市シビックセンター	2月25日～	27日
○徳島大学書道部 OB 会書作展	ガレリア新蔵	3月 9 日～	13日
○第 5 回桂和会書展	徳島市シビックセンター	3月11日～	13日
○第 46 回雪心会書作展	奈良県文化会館	3月16日～	21日
○第 45 回書道研究清潮記念展	阿南市文化会館	3月18日～	20日
○第 8 回五果会書展	県立文学書道館	3月25日～	27日
○第 8 回書朋六人展	県立文学書道館	4月 1 日～	3日
○第 2 回武市鳴雲書作展	吉野川市文化研修センター	4月 2 日～	4日
○第 40 回光輪社書作展	県立文学書道館	4月15日～	17日
○第 23 回睦月会書展	徳島市シビックセンター	4月27日～	29日
○第 4 回琴清会書展	徳島市シビックセンター	5月 4 日～	6日
○第 5 回幽の会書展	徳島市シビックセンター	5月13日～	15日
○第 56 回成蹊書道会展	あわぎんホール	5月20日～	22日
○第 24 回長玄書道会展	阿波銀プラザ	8月 5 日～	7日
○第 38 回双暢会書展	大和高田市文化会館	8月26日～	28日
○第 41 回直心会書展	あわぎんホール	9月 2 日～	4日
○第 75 回徳島書芸院展	あわぎんホール	9月 8 日～	11日
○第 56 回書協人展	あわぎんホール	9月 9 日～	11日
○第 10 回一心会記念展	県立文学書道館	9月30日～	10月 2 日
○第 17 回六書会書展	ヨンデンプラザ徳島	10月21日～	23日
○第 7 回向井京子三世書展	脇町うだつ時代屋ギャラリー	11月 1 日～	30日
○第 34 回泉心会書作展	県立近代美術館	11月11日～	13日
○第 7 回吉野川市書人会展	吉野川市文化研修センター	11月25日～	27日
○第 15 回せゝらぎ書展	あわぎんホール	12月 2 日～	4日
○第 16 回尚真書展	阿波銀プラザ	12月 9 日～	11日
○第 3 回虹光会書展	県立文学書道館	12月 9 日～	11日
○第 32 回臨池書展	あわぎんホール	12月16日～	18日

## 会員消息 (県展・放美展・社中展は除く)

役員で出品した人・入賞者 (平成 23 年 1 月から 12 月) 順不同

○第 52 回太玄会書展 (千葉書星会館 1/6～7)

審 査 員 春藤大耿

奨 励 賞 春藤真紀

○第 42 回正筆会 菁華書作展 (東京銀座画廊 1/20～23)

常任総務理事 亀石文苑

総務理事 竹田和代

○第65回日本書芸院展(大阪市立美術館 2/15～20、6/28～7/3)

(大阪国際会議場 4/12～17)

常務理事 勝瀬景流

参 与 薄田玲泉

一科審査会員 能仁華瑤・矢部知子・沖田唐谷・青木東原・福永美泉・河野真流・森 光翔・  
宮守崇流・上田輝芳・亀石文苑・辻 紅雲・向井京子・清水桂月

二科審査会員 鳩成青嶂・藤村柳葉・藤山真由里・石井祥洸・川村春琴・安原照代・稲木裕美・  
赤川景舟・山本景琴・井上虹雨・倉本景雨・遠藤玉流・吉田靖流・加村喜美子・  
長谷美峰・竹田和代・片山芳明・谷口清水・松永翠月

史 邑 賞 能仁華瑤

大 賞 横田典子・川村春琴

特 別 賞 日下真宏・恵美春陽・後藤佳美・四宮千春・井上景玄・松本景芳・阿部博子・

準 特 別 賞 丸岡泉石・熊代厚子・谷 玲琴・佐川菁流・背川景玲・折野佳子

特 選 北村浩子・中西瑤汀・河見踏春・米倉由加里・安友彰子・佐野陽子・河野多美・  
河野美鶴・松本トキ子・渡辺理恵

一科会員推薦賞 上田美智・仁木輝実・林 美雪・稲井由香

二科会員推薦賞 大本華越・一宮堆川・中口美都里・原田美穂・森 美佳

○第47回創玄展(国立新美術館 3/3～13)

一科審査員 荒井彭仙・長原皐聖・玉城乾香・浜 佳香

二科審査員 永松春苑・芝原醒鶴・多田清芳

審査会員 岩本志豪・吉田和婉・朝三皐如・大西清葩・山口幽径・丸岡香貞・平岡幽琴・

特 選 岸 緑香

秀 逸 高瀬大峰・長原皐月・玉城乾舞・岡崎啓香・富永美祥・和田幽彩・野田香洋・

二 科 賞 津田真由美

準 二 科 賞 佐藤燦香・松島 宏・吉野美苑・玉城乾和

○寒玉選抜展(大阪梅田マルビル内 4/7～9)

常 任 総 務 長谷美峰

○寒玉書道展(大阪市立体育館 4/7～9)

特 選 野田恭子

○'11日本書芸院展役員展(大阪国際会議場3階 4/19～24)

参 与 東 南光

○第52回太玄会書展 誌上展

○第47回太玄会役員書展(東京セントラル美術館 5/10～15)

運 営 委 員 春藤大耿

常 任 理 事 鈴木恵理

理事・実行委員 近藤静苑・富久鳴泉・中尾勝子

理事 岡島順子・下村清子

審査会員 馬居汀香・春藤玉秀・弘田長風・田上洋香・大塚秀峰・木村弘子・瀬藤豊子・  
西宇明美・廣島白鷺・吉田美重子

○第 39 回日本の書展関西展（大阪国際会議場 5/19～22）

現代書壇代表 勝瀬景流

招待 東南光・春藤大耿・能仁華瑤・荒井彭仙・玉城乾香・清水桂月

秀抜選 川村春琴・竹田和代・大西清葩・武市鳴雲・浜佳香・多田清芳

○第 34 回日本かな書展（日本橋高島屋 5/25～30）

副理事長 藤若美風

審査会員 松本清香・三浦富美代（監事）

○第 35 回由源会全国書展（マイドーム大阪 5/28～30）

常任無鑑査 川村春琴

委員 丸岡春暎・谷玲琴・土井和翔

幹事 中村春岳・満寿川愛弓

兵庫県知事賞 谷玲琴

○第 28 回日本詩文書作家協会展（東京セントラル美術館 6/7～12）

推薦 岩本志豪

○第 63 回朝陽書道会展（岡山県天神山文化プラザ 6/21～26）

理事長 勝瀬景流

常任総務 薄田玲泉

常任理事 赤川景舟・井上虹雨・上田輝芳・河野真流・倉本景雨・佐川菁流・竹内虹舟・  
宮守崇流・森光翔・山本景琴

○第 25 回玄心書道展（兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー 6/30～7/3）

常務理事 辻紅雲

○第 49 回水穂書展（京都市美術館 7/8～10）

総務 東弥生

常任理事 宇山泰鳳・向井京子

○第 28 回国産経国際書展（サンシャインシティワールドポートマート 7/9～17）

評議員 三浦富美代

○第 63 回毎日展（国立新美術館 7/20～31）

（愛媛県立美術館 8/10～14）

審査会員 荒井彭仙・玉城乾香

会員 長原阜聖・芝原醒鶴・永松春苑・岩本志豪・吉田和婉・浜佳香・多田清芳・  
平岡幽琴

秀作 幸田清尚・武田玲香

佳作 長原阜月・岩崎麻美

○第 28 回読売書法展（国立新美術館 8/19～28）

（サンメッセ香川 12/9～11）

- 常任理事 勝瀬景流
- 理事 清水桂月・東南光・東 弥生・能仁華瑤・薄田玲泉・河野真流・上田輝芳・  
亀石文苑
- 幹事 春藤大耿・林 美雪・川村春琴・福永美泉・倉本景雨・竹内虹舟・佐川菁流・  
井上虹雨・山本景琴・森 光翔・井上景玄・遠藤玉流・長谷美峰・宇山泰鳳・  
向井京子・竹田和代
- 評議員 駒田水洸・河野多美・佐野陽子・吉田靖流・遠藤恵泉・井内晃流・皆谷芳穂・  
赤川景舟・加村喜美子・内田麻紀・阿部博子・松永翠月・馬居汀香・鈴木惠理
- 読売新聞社賞 宮守崇流・辻 紅雲
- 読売俊英賞 林 美雪・川村春琴
- 奨励賞 駒田水洸・背川景玲・松本景芳
- 特選 高柳早秀・廣瀬景花・杉本裕子
- 秀逸 岡部比登美・河野美鶴・石井祥洸・永岡光翠・四宮千春・向井境子
- 山東大学 110 周年華誕之慶展(中国国立博物館 9/26 ~ 10/8)
- 招待 東南光
- 第 27 回國際蘭亭筆會書法展(台湾・基隆市文化センター 9/27 ~ 10/2)
- 日本蘭亭筆會理事長 東南光
- 第 34 回日本かな書展 誌上展 10 月
- 正会員 長谷美峰
- 第 43 回日展(国立新美術館 10/28 ~ 12/4)
- 会員 勝瀬景流
- 入選 東南光・竹田和代・能仁華瑤・岡部比登美・福永美泉・薄田玲泉・河野真流・  
倉本景雨・上田輝芳・宮守崇流・亀石文苑・辻 紅雲・向井京子
- 第 37 回創玄現代書展(東京セントラル美術館 11/1 ~ 6)
- 選抜入選 岸 緑香・佐藤恵和
- 清潮書道役員展(東京銀座画廊 11/19 ~ 21)
- 参与 西南龍
- 第 51 回璞社展(大阪市立美術館 11/29 ~ 12/4)
- 参事 春藤大耿・清水桂月
- 参与 駒田水洸・谷口清水・豊浦春光・松本深翠・馬淵直枝・春藤玉秀
- 相談総務 東南光
- 常任理事 能仁華瑤・八木藍玉・武市鳴雲・松永翠月・横田典子・馬居汀香
- 理事 河野多美・林 美雪・岡島朱伯・片山芳明・野口有香・花本清香・森本真由美・  
鈴木惠理・田上洋香・弘田長風
- 評議員 大本華越・恵美春陽・岡部比登美・永岡光翠・須見智香・上田美智・北村浩子・  
園尾恵風・谷本真由美・長尾愛香・前川林谷・丸岡泉石・稲井華風・春藤真紀・  
中西瑤汀・細 桂山
- 特別賞 磯川味佳・高柳早秀・笠井仁美

優 秀 賞 伊達静蘭  
会 員 賞 佐野陽子  
特 選 服部紫光・山崎真美  
佳 作 大塚秀峰・高橋信華・一宮堆川

○第 63 回正筆展(兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー 12/10～11)

常任総務理事 亀石文苑  
総務理事 竹田和代  
常任理事 加村喜美子・内田麻紀・齋藤弥生・阿部博子

○第 33 回日本書道学院展(東京都立産業貿易センター 12/10～12)

客 員 勝瀬景流  
審 査 員 赤川景舟・井上景玄・井上虹雨・上田輝芳・皆谷芳穂・河野真流・倉本景雨・  
佐川菁流・薄田玲泉・背川景玲・竹内虹舟・宮守崇流・森 光翔・山本景琴・  
大 賞 遠藤玉流・吉田靖流

# デザイン部

部会長 田中 一郎

## 年間展望

### ◎第19回放美展（5月2日（月）～6日（金）あわぎんホール）

出品点数 113 点、出品人数 108 人。昨年にも増して高校生の出品が増え、点数にして 96 点、人数は 93 人（出品点数全体の 85%）を占めた。審査は、美協デザイン部より敷島のり子、北島豊嗣、田中一郎の 3 名が担当し、放美賞 1 点、優秀賞 5 点、入選 37 点を選考した。さらに今年度より入選した高校生の内の 1 名（1 点）に梅岡トヨ賞が授与された。

放美賞に選ばれた伊丹菜津子の「ワタシ。」は、不安定な 10 代の自分という現実の中にあって、未来を見たいという思いをファスナーをこじ開けるという発想に託した新鮮な魅力のある画面作りが評価された。優秀賞には、それぞれ完成度の高い個性あふれるイラストレーションで、メッセージを的確に表現した野中弘美「ケータイに恋するてる子 17 歳♡」、藤本愛美「よみがえれ、命。」、堀貫裕子「馬鹿ルテット」、森岡真菜「HOPE」、河見朱莉「high school life」が選ばれた。新設の梅岡トヨ賞には、卓越した色彩構成力が光る谷口晴香の「ジェリービーンズ」が選ばれた。年を追うごとの出品数の増加（前回より+24 人、+22 点）は喜ばしいことではあるが、ますます狭き門（入選率 38.1%）となることは将来への不安材料ともなりうる。3 名の審査員と美協理事の坂本三千一、沢口 功の作品を併せて計 48 点が展示された。

### ◎キズナ～Pray for JAPAN～ポスター展（6月23日（木）～26日（日）徳島県立近代美術館ギャラリー）

東日本大震災で疲弊したすべての人々に向けて、復興への祈りをポスターという形で発表した。美協デザイン部と JAGDA 徳島との共同開催。部会員からは天羽宏美、生田典子、北島豊嗣、桑原美枝、坂野美恵子、坂本三千一、沢口 功、敷島のり子、田中一郎、西林良枝、福井 章、三木由佳里、吉本 實、四十宮隆志の 14 名が出品した。

### ◎第66回徳島県美術展（第1期 10月8日（土）～16日（日）あわぎんホール）

昨年度の出品点数の大幅な減少が今年も、という不安の中、10月2日（日）の搬入受付日を迎えた。かろうじて昨年を7点上回る出品点数 61 点、出品人数も 4 人増えて 45 人という結果となったが、先が思いやられる状況に変わりはない。

審査員には、日本を代表するグラフィックデザイナーの一人で、現在、多摩美術大学の教授もされている佐藤晃一氏をお迎えし、特選 2 点（内特別賞 1 点）、準特選 3 点、奨励賞 3 点、入選 29 点の計 37 点を選出していただいた。

特選・県教育長賞には四十宮隆志（部会員）の「meltdown 3.11」が、シンプルな構成でありながら東日本大震災による原発のかかえる問題を明快に整理し、心理的にもよく表現されているなどデザイン的な完成度の高さが評価された。また、特選の佐山梨奈「キャットフードの看板」は、



高校生ながら落ち着いた色調の巧みな色遣いで伸び伸びと自信を持って楽しんで描く心が伝わってくる、という好評を得た。準特選は、吉村敏嗣、西條明彦、斎藤 剛が、奨励賞は、安藝知美、斎藤志津子（部会員）、四十宮隆志（部会員）がそれぞれ受賞した。その他部会員の三木由佳里、四十宮隆志（2点）が入選した。

佐藤晃一審査員からは「個性的な表現の力作揃いだったが、作品を見れば作者の性別が一目瞭然で、中世的な表現が無かったことが惜しい。男女の両方の視点を持って欲しい。」との励ましをいただいた。入賞・入選に加え、特別出品の坂本三千一、福井 章、田中一郎、そして招待作家の斎藤繁次、坂野美恵子、敷島のり子の6点を併せて計43点が展示された。

## 会員消息（県美術展・放美展関係は除く 2011.1～12）

### ■天羽 宏美

- 4月 はな・はる・フェスタ 2011 野外ポスター展“KIZUNA”出品  
[ポスターギャラリー実行委員会]（於：しんまちボードウォーク）
- 6月 「キズナ～Pray for JAPAN～」ポスター展出品 [JAGDA 徳島+美協デザイン部]  
（於：徳島県立近代美術館）

### ■北島 豊嗣

- 4月 はな・はる・フェスタ 2011 野外ポスター展“KIZUNA”出品  
[ポスターギャラリー実行委員会]（於：しんまちボードウォーク）
- 5月 第66回徳島県美術展ポスターデザイン制作
- 6月 「キズナ～Pray for JAPAN～」ポスター展出品 [JAGDA 徳島+美協デザイン部]  
（於：徳島県立近代美術館）

### ■斎藤 繁次

- 2月 サイトウシゲジ イラスト展（於：ドクターエンドー）

### ■坂野美恵子

- 6月 「キズナ～Pray for JAPAN～」ポスター展出品 [JAGDA 徳島+美協デザイン部]  
（於：徳島県立近代美術館）
- 7月 二科 グラフィックデザイン四国地区展出品（於：NHK 松山放送局アートギャラリー）
- 9月 第96回二科展デザイン部門 会員出品（於：国立新美術館）

### ■坂本ミチカズ

- 6月 「キズナ～Pray for JAPAN～」ポスター展出品 [JAGDA 徳島+美協デザイン部]  
（於：徳島県立近代美術館）
- 9月 中学生国際平和ポスター審査 [徳島城山ライオンズクラブ主催]

- 11月 No More Fukushima 反原発ポスター展出品 (於:東京・桑沢デザイン研究所)
- 12月 徳島/経済5団体 新年祝賀会参加者名簿 表紙デザイン

■沢口 功

- 2月 第39回徳島市芸術祭美術展 審査員出品 (於:あわぎんホール)
- 3月 沢口功グラフィックアート作品集出版
- 6月 「キズナ～Pray for JAPAN～」ポスター展出品 [JAGDA 徳島+美協デザイン部]  
(於:徳島県立近代美術館)
- 12月 第40回歳末チャリティ作品・色紙即売展出品 [徳島新聞社会文化事業団]  
(於:そごう徳島店)

■敷島のり子

- 4月 はな・はる・フェスタ 2011 野外ポスター展 “KIZUNA” 企画開催/出品  
[ポスターギャラリー実行委員会] (於:しんまちボードウォーク)
- 6月 「キズナ～Pray for JAPAN～」ポスター展出品 [JAGDA 徳島+美協デザイン部]  
(於:徳島県立近代美術館)
- 6月 J A G D A 東北復興支援チャリティ「やさしいハンカチ展」出品  
(台北を始め全国十数カ所で展覧会開催)
- 6月 鹿野クォーツガラスエキシビジョン 2011 /招待出品 (於:山口県鹿野)
- 7月 文化の森 阿波おどりフェスタ「染織手ぬぐいプロジェクト」  
展覧会/出品 [徳島県立近代美術館] (於:徳島県立近代美術館)
- 12月 第40回歳末チャリティ作品・色紙即売展出品 [徳島新聞社会文化事業団]  
(於:そごう徳島店)

■田中 一郎

- 4月 はな・はる・フェスタ 2011 野外ポスター展 “KIZUNA” 出品  
[ポスターギャラリー実行委員会] (於:しんまちボードウォーク)
- 6月 「キズナ～Pray for JAPAN～」ポスター展出品 [JAGDA 徳島+美協デザイン部]  
(於:徳島県立近代美術館)
- 12月 第31回ヴォーカルグループ Sole コンサート ポスター、パンフレット、チラシ、  
チケット、看板デザイン

■西林 良枝

- 1月 第39回徳島市芸術祭美術展 デザイン部門特別出品 (於:あわぎんホール)
- 3月 東日本大震災によせて～インド舞踊へのいざない～天の川ものがたり ポスター、  
パンフレット表紙デザイン
- 4月 「ISETAN JAPAN SENSES ニッポンビジョン4」  
ナガオカケンメイさんが47都道府県の商品を4つの視点で紹介。

徳島県の4つの代表の内のひとつにデザインした「柚子っ子」が選ばれる。  
(於：新宿伊勢丹6F)

- 4月 はな・はる・フェスタ 2011 野外ポスター展 “KIZUNA” 出品  
[ポスターギャラリー実行委員会] (於：しんまちボードウォーク)
- 6月 「キズナ～ Pray for JAPAN～」ポスター展出品 [JAGDA 徳島+美協デザイン部]  
(於：徳島県立近代美術館)
- 6月 鹿野クオーツガラスエキシビション 2011 / ガラス作品出品 (於：山口県鹿野)

#### ■福井 章

- 4月 はな・はる・フェスタ 2011 野外ポスター展 “KIZUNA” 出品  
[ポスターギャラリー実行委員会] (於：しんまちボードウォーク)
  - 6月 「キズナ～ Pray for JAPAN～」ポスター展出品 [JAGDA 徳島+美協デザイン部]  
(於：徳島県立近代美術館)
  - 12月 第40回歳末チャリティ作品・色紙即売展出品 [徳島新聞社会文化事業団]  
(於：そごう徳島店)
- 徳島新聞朝刊「阿波路イラストぶらり旅」絵と文 (毎月1回連載)  
○徳島調停協会連合会会報「和と情理」イラストシリーズ (年2回連載)

#### ■三木由佳里

- 1月 第39回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 徳島市文化協会会長賞受賞  
(於：あわぎんホール)
- 6月 「キズナ～ Pray for JAPAN～」ポスター展出品 [JAGDA 徳島+美協デザイン部]  
(於：徳島県立近代美術館)
- 8月 徳島県テニス協会 OPAテニス ログマークデザイン制作
- 12月 第40回歳末チャリティ作品・色紙即売展出品 [徳島新聞社会文化事業団]  
(於：そごう徳島店)

#### ■吉本 實

- 1月 第39回徳島市芸術祭美術展 デザイン部門 特別出品 (於：あわぎんホール)
- 3月 徳島県立総合看護学校 [2011年4月開校] コーポレートロゴマーク・  
ロゴタイプデザイン制作 V. I (ヴィジュアルアイデンティティ) 計画：校旗 (式  
典用等2種類)・タイポグラフィ制定・サイン (校舎、校門)・校章・便覧・IDカー  
ド (学生証、名札等)・名刺・封筒・シールプレス、アートディレクションデザイン  
制作 [徳島県医療健康総局]
- 3月 徳島県観光戦略事業◆2011年版「とくしま産直市観光マップ」  
アートディレクション・イラスト・デザイン制作 [徳島県観光戦略局]
- 4月 はな・はる・フェスタ 2011 野外ポスター展 “KIZUNA” 出品  
[ポスターギャラリー実行委員会] (於：しんまちボードウォーク)

- 6月 「キズナ～ Pray for JAPAN～」ポスター展出品 [JAGDA 徳島+美協デザイン部]  
(於：徳島県立近代美術館)
- 7月 文化の森 阿波踊りフェスタ「染織手ぬぐいプロジェクト」JAGDA 染織講師  
[徳島県立近代美術館] (於：徳島県立近代美術館)
- 10月 徳島県花基金事業 2012年版「とくしま花へんろポスターカレンダー」  
アートディレクション・デザイン制作 [徳島県観光協会]
- 11月 萬の民の阿波踊り 染織手ぬぐいプロジェクトブース・講師染織作品出品  
[徳島県文化スポーツ立県局] (於：アスティとくしま)
- 12月 第40回歳末チャリティ作品・色紙即売展出品 [徳島新聞社会文化事業団]  
(於：そごう徳島店)

■四十宮隆志

- 4月 はな・はる・フェスタ 2011 野外ポスター展“KIZUNA”出品  
[ポスターギャラリー実行委員会] (於：しんまちボードウォーク)
- 6月 「キズナ～ Pray for JAPAN～」ポスター展出品 [JAGDA 徳島+美協デザイン部]  
(於：徳島県立近代美術館)
- 8月 「SILKS～ composition of poetry～」グラフィックデザイン (シルクスカーフ) 1点  
出品&オープニング参加 (於：ロンドン/パンクラス教会クリプトギャラリー)
- 11月 No More Fukushima 反原発ポスター展出品 (於：東京・桑沢デザイン研究所)
- 12月 第40回歳末チャリティ作品・色紙即売展出品 [徳島新聞社会文化事業団]  
(於：そごう徳島店)

## 第 66 回徳島県美術展公募規定

部門 区分	日本画	洋画	写真	彫刻
搬入日	9月25日(日)	9月24日(土)	10月2日(日)	9月25日(日)
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室			
審査日	9月25日(日)	9月25日(日)	10月2日(日)	9月25日(日)
審査員	宮 いつき	大津 英敏	江成 常夫	深井 隆
出品料	協会員及び高校生1点目3,500円 その他の方4,500円 2点目からはすべて1,500円			
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・点数は制限なし ・小・中学校在学者は出品できない			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・70cm×47cm(額縁を除く)以上でタテ、ヨコの一辺が190cm(額縁を含む)以内</li> <li>・アクリル・ガラス等で画面を覆わない</li> <li>・額装</li> <li>・裏面に吊り紐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20号から60号まで(水彩は20号以上、版画は10号以上、S型は30号までとする)</li> <li>・額</li> <li>・吊り紐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組・単とも半切及びA3から全倍サイズで画面の長辺が40cm以上80cm</li> <li>・スクエアサイズ(正方形)は一片が30cm以上50cm</li> <li>・無鑑査以上は上記サイズの単写真に限る</li> <li>・パネル張りに限る</li> <li>・額装及び枠取り不可</li> <li>・組写真は1パネル(90cm×180cm以内)に全作品を固定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ2m×幅1.5m×奥行1.5m以内</li> <li>・重量200kg以内</li> <li>・材料等は自由、展示可能なものに限る</li> </ul>
入賞	特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点	特選 3点 準特選 6点 奨励賞 5点	特選 4点 準特選 9点 奨励賞 8点	特選 1点 準特選 2点 奨励賞 2点

部門 区分	美術工芸	書道	デザイン
搬入日	9月25日(日)	9月28日(水)	10月2日(日)
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室		
審査日	9月25日(日)	9月29日(木)	10月2日(日)
審査員	大樋 年朗	土井 汲泉 舟尾 圭碩 百瀬 大蕪	佐藤 晃一
出品料	協会員及び高校生1点目3,500円 その他の方4,500円 2点目からはすべて1,500円		
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・点数は制限なし ・小・中学校在学者は出品できない		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限なし(ただし、平面作品はタテ1.8m×ヨコ1.5m以内)</li> <li>・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等</li> <li>・展示できる用具をつける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半切又は全紙ヨコ1/2以上、仕上がり面積1.47㎡(16平方尺)以内でタテ、ヨコ自由</li> <li>・卷子本・帖は40cm×300cm以内</li> <li>・篆刻は印影とし、タテ39cm×ヨコ30cm以内の額装に限る(例) 61cm(2尺)×242cm(8尺)枠張 79cm(2.6尺)×181cm(6尺)枠張 91cm(3尺)×161cm(5.3尺)枠張 121cm(4尺)×121cm(4尺)枠張</li> <li>・半切・全紙1/2・聯落まで額装、アクリル入りでもよい</li> <li>・無鑑査以上の出品者は半切以内</li> <li>・部門は、漢字・篆刻・仮名・近代詩文書・前衛</li> <li>・それぞれ釈文をつけること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B1サイズ(728mm×1,030mm)で厚さ5mm～75mm、外枠(幅20mm以内)を含めた重さが5kg以内</li> <li>・グラフィックデザインとし、原画の材質は問わない</li> <li>・ガラス額装は不可</li> <li>・実在の商品名、会社名等の使用は不可</li> <li>・著作権、肖像権に触れないこと</li> <li>・吊り紐</li> </ul>
入賞	特選 2点 準特選 4点 奨励賞 3点	特選 8点 準特選 14点 奨励賞 13点	特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点

- 注 1) 入選数は出品点数に応じての規定数とする  
 2) 選外作品及び展示作品は各部門の決められた日時までに搬出すること  
 3) 所定の期日までに搬出しなかった作品は出品者の送料負担(梱包料金)で返送する

## 第 19 回放美展公募規定

部門 区分	日本画	洋画	写真	彫刻
書類受付期限	平成 23 年 4 月 9 日 (土)			
搬入日	平成 23 年 4 月 29 日 (金・祝)			
搬入場所	あわぎんホール (県郷土文化会館) 3 階展示室			
審査日	平成 23 年 4 月 29 日 (金・祝)			
審査員	西野 和男 中川 健 土井 洋子	露口 敏幸 松川 寛 中辻奈美枝	上野 照文 荒井 賢治 井藤 光章	鎌田 邦宏 上月佳代 長岡 強
出品料	1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生は 1 点 1,000 円			
応募資格・ 出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1 人 3 点以内			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画面が 70cm × 47cm (額縁を除く) 以上で、タテ、ヨコの一辺が 130cm (額縁を含む) 以内</li> <li>・アクリル・ガラス等で画面上を覆わない</li> <li>・額装</li> <li>・裏面に吊り紐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20～50 号まで (ただし S 型は 30 号を上限とし版画は 10 号以上)</li> <li>・額</li> <li>・吊り紐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組写真・単写真とも半切及び A3 から全倍サイズで、画面の長辺が 40cm 以上 80cm</li> <li>・スクエアサイズ (正方形) は 1 片が 30cm 以上 50cm</li> <li>・パネル張りに限り、額装は禁止 (ガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木などによる枠取り不可)</li> <li>組写真は 1 パネル (90cm × 180cm 以内) に全作品を固定したもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100kg 以内であわぎんホール (県郷土文化会館) のエレベーターに入る大きさまで (展示に危険を伴わないもの)</li> </ul>
入賞	・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品点数 25 点につき 1 点 ・梅岡トヨ賞 (高校生・高専生の入選者から 1 点)			

  

部門 区分	美術工芸	書道	デザイン
書類受付期限	平成 23 年 4 月 9 日 (土)		
搬入日	平成 23 年 4 月 29 日 (金・祝)		
搬入場所	あわぎんホール (県郷土文化会館) 3 階展示室		
審査日	平成 23 年 4 月 29 日 (金・祝)		
審査員	七條 猪三郎 橘 恵 松下 慶一	武市 鳴雲 長原 皋聖 河野 真流	田中 一郎 敷島のり子 北島 豊嗣
出品料	1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生は 1 点 1,000 円		
応募資格・ 出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1 人 3 点以内		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等とする</li> <li>・平面作品はタテ 1.8m × ヨコ 1.5m 以内</li> <li>・展示できる用具を必ずつける (前後を分かるように明示すること)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0.85㎡以内とし、枠・額に限る (例) 半切+半切 3 分の 1 全紙 2 分の 1</li> <li>・吊り紐</li> <li>・申込書の裏面に釈文を書くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフィックデザインとし、原画の材質は問わない</li> <li>・B1 サイズ (728mm × 1,030mm) で厚さ 5mm～75mm、外枠 (幅 20mm 以内) を含めた重さが 5kg 以内</li> <li>・ガラス額装は不可</li> <li>・実在の商品名、会社名等の使用は不可</li> <li>・著作権、肖像権に触れないこと</li> <li>・吊り紐</li> </ul>
入賞	・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品点数 25 点につき 1 点 ・梅岡トヨ賞 (高校生・高専生の入選者から 1 点)		

注 1) 入選数は出品点数に応じての規定数とする

2) 選外作品及び展示作品は各部門の決められた日時までに搬出すること

3) 所定の期日までに搬出しなかった作品は出品者の送料負担 (梱包料金) で返送する

## あ　と　が　き

今年には役員改選の年で、6月の総会で佐野会長が勇退し、新たに彫刻部の河崎会長が新会長に選任されました。佐野前会長には長年にわたり徳島県美術家協会会長として御尽力されたことに敬意を表します。

副会長も書道部の西南龍氏、春藤大耿氏が新たに選任され、部会長においては写真部とデザイン部の2部会が新部会長となりました。

また、事務局も今年度は日本画部が担当することが決まり、長年事務局としてお世話になった清水氏から事務を引継ぎました。

美術家協会が主催する2展覧会のうちのひとつである第19回放美展は、女性が4部門で受賞するなど昨年に続き女性の活躍が目立ちました。

新体制に刷新された中で迎えた第66回徳島県美術展は、美協会員をはじめとする関係者の御協力において、無事混乱することもなく盛況のうちに終わることができました。

年報の編集にあたって各部会長から1年間の各部の動向や会員の消息をいただきましたが、会員の方で掲載したい情報がある場合は、年報原稿の締め切り前に各部会長と御相談くださるようお願いいたします。

新体制となって1年が経とうとしていますが、会員の皆様には健康に留意されまして、ますます創作活動に励まれますよう祈念いたします。

今後も徳島県美術家協会の発展のために、会員皆様の御協力をよろしくお願いたします。

なお、今年の年報の表紙は、写真部の上野照文氏に御尽力いただきました。

すばらしい表紙写真の御提供をありがとうございました。

平成24年3月

徳島県美術家協会事務局

# 美術年報 2012年

---

平成24年3月30日印刷

平成24年3月31日発行

編集者 西野和男

装幀者 上野照文

発行人 河崎良行

印刷 星印刷株式会社

発行所 徳島県美術家協会

徳島市丈六町八斗代7-6 西野方

---